

高文連

第22号

山口県高等学校文化連盟

高文連

第 22 号

も く じ

ごあいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第32回山口県高等学校総合文化祭の記録	15
総合開会式	15
[音楽関係 4 部門]	
器楽・管弦楽部門	18
合唱部門	19
吹奏楽部門	20
マーチングバンド・バトントワリング部門	21
日本音楽・詩吟部門	22
展示 3 部門（美術・工芸、書道、写真）	23
囲碁部門	28
演劇部門	29
放送部門	30
将棋部門	31
文芸部門	32
第32回全国高等学校総合文化祭の記録	33
総合開会式	34
器楽・管弦楽部門	35
合唱部門	36
吹奏楽部門	37
マーチングバンド・バトントワリング部門	38
日本音楽部門	39
美術・工芸部門	40
書道部門	41
写真部門	42
囲碁部門	43
放送部門	44
将棋部門	45
文芸部門	46
自主事業	47
参考資料	
平成22年度山口県高等学校文化連盟〈事業報告・会計決算書〉	53
平成23年度山口県高等学校文化連盟〈事業計画・会計予算書〉	55
山口県高等学校文化連盟規約・諸規程・表彰規程（会計、事務局、旅費支給基準、 調整基金細則）	57
平成22・23年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	63
全国高文連の歌	65



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 松井 誠

昭和60年に県内高校生の芸術・文化の祭典として始まった山口県高等学校総合文化祭も今年で32回目を迎えました。「清流に映える夢 未来に届けよう 文化の架け橋」をテーマに14部門の文化部や文化活動の大会等が多く的高校生や地域の方々の参加を得て、県内各地で盛大に開催され、素晴らしい成果をあげることができました。高校生の皆さんが総合文化祭への参加を通じ、地域の人々と交流したり、それぞれの分野の専門家と連携したりして、文化・芸術を通じた人々とのつながりを強めるとともに、活動の幅を広げるきっかけになったことと思います。これを機に、更に、皆さんが人々の心にゆとりと潤いを与え地域に輝きをもたらしてくれることを期待しています。

また、県高文連では、高校生が優れた文化や芸術にふれ合う機会を作り感性を高めることを目的に、自主文化事業を企画・開催しております。今年度は音楽や演劇など7公演を県内各校で行い、感動を共有し盛況の内のうちに終了することができました。演奏会後には部活動指導も行われ、高校生の技術・技量を高める機会も設けて、好評をいただいております。

更に、文化芸術振興条例制定後、県内文化関係諸団体との連携をすすめ、活動の幅を広げた様々な取り組みも行っております。特に、山口県中学校文化連盟とは、美術・工芸、書道、写真の各分野において交流作品も行っているところです。

さて、8月1日から5日間、宮崎県において開催された第34回全国高等学校総合文化祭は、口蹄疫のため当初開催が危ぶまれましたが、関係機関の精力的な取り組みにより、全国から二万人以上の高校生が集い開催されました。山口県からは191名の代表生徒が参加し、それぞれが持てる力を十分に発揮し、囲碁、将棋部門において優れた成績を上げることができました。これからも、全国大会での経験を活かして、なお一層の活躍を期待しています。

今後、高校学校総合文化祭を目指している皆さんは、自分らしさを探求すると同時に、目的意識を持って研鑽を積み、仲間との切磋琢磨によって、自己の可能性を広げて欲しいと思います。県高文連は、これからも21世紀の担い手となる高校生の創造する力を育成し、自らの自己実現を図る取り組みを支援するなど、高校生の文化・芸術活動の育成と活性化に向けて、更に努力を続けて参ります。

終わりに、県高文連の活動に御支援・御協力を賜りました関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。発刊のごあいさつといたします。

山口県高等学校文化連盟〈各部門の報告〉

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として単独演奏及び合唱部門との合同演奏

＊6月17日(木)

＊単独演奏：エルガー作曲

「行進曲“威風堂々”第1番」

指揮：宮本 慶司

＊合同演奏：

佐藤 眞作曲「大地讃頌」

ヘンデル作曲「ハレルヤ・コーラス」

村井 邦彦作曲「翼をください」

指揮：佐々木 真一

＊参加出演／器楽・管弦楽部門 114名

2. 平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

＊6月18日(金)、19日(土)

＊参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

＊参加出演／7校 310名

3. 第34回全国総合文化祭

＊8月4日(水)、5日(木)

＊宮崎市民文化ホール

＊山口県立柳井高等学校が県代表として参加

＊ブリテン作曲「シンプル・シンフォニー」を演奏

4. 平成22年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

＊2010年12月1日(水)

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者8名

＊第30回器楽・管弦楽スプリングコンサート(岩国大会)、県総文全総文、高文連表彰、役員改選などについて協議

5. 第30回器楽・管弦楽スプリングコンサート

＊平成23年3月25日(金)

シンフォニア岩国

＊参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏

今年度の全国総合文化祭宮崎大会では、本県代表の柳井高等学校が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的にみても、非常に高いものだと思います。次年度以降もますます、発展していくことを確信しています。



合唱部門

理事長 田 中 睦
(野田学園高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会（開幕式典に備えての講習会）

- ・平成22年5月29日(土)
- ・講師／近藤恵子
(愛知県立岡崎高等学校非常勤講師)
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より
「大地讃頌」”
- ・場所／山口県教育会館ホール
- ・参加者／9校 168名

今年度は、国内外の各種コンクールで輝かしい実績を残されている愛知県立岡崎高等学校コーラス部顧問の近藤恵子先生をお招きした。午前午後ともに、曲のレッスンを通じてご指導頂いた。近藤先生の温かでパワフルな指導を通じて、毎日の練習の中で決して妥協せず、当たり前のことをいかに己に徹底するかが大切であることを生徒は痛感し、充実した講習会となった。



2. 平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏

- ・6月17日(木)
 - ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
 - ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より
「大地讃頌」”
 - ・山口県高等学校合唱団／9校 174名
- 今年は、昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」を演奏した。日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となったようである。今年度は参加人数が30名弱増加した。そのため、例年懸念されている男声への負担が軽減され、非常にのびのびとした声で演奏していた。最後に会場の人と一緒に歌った「翼を下さい」ではホールの熱気が最高潮に達し、感動のうちに幕を閉じた。

3. 平成22年度第31回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・6月18日(金)、19日(土)
- ・山口県民文化ホールいわくに
- ・合唱部門出演者／8校 181名

4. 第34回全国高等学校総合文化祭

- ・8月2日(月)
- ・メディキット県民センター(宮崎県)
- ・山口県代表／山口県立山口高等学校合唱部

5. 平成22年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・12月3日(金)
- ・野田学園高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下9名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰、国体

吹奏楽部門

理事長 志道博資
(宇部高等学校教諭)

平成22年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

岩国地区引き受け岩国高等学校主管で、6月17日(木)山口県民文化ホールいわくにおいて盛大に開催されました。吹奏楽部門は岩国地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、岩国総合高校の小松秀之先生の指揮で慶祝演奏に参加しました。
演奏曲は『カルミナ・ブラーナ』でした。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日から2日間、山口県民文化ホールいわくにて開催でした。
18日(金)は25団体、19日(土)は30団体が参加しました。吹奏楽部門の参加生徒数は1,842名で、どの団体も個性豊かな素晴らしい演奏を披露しました。

3. 全総文宮崎大会

全総文宮崎大会の吹奏楽部門は8月4日(水)と5日(木)の2日間、宮崎県延岡市の延岡総合文化センターにおいて開催されました。本県代表として山口県鴻城高等学校(内田良一先生指揮)が出場しました。今年度はレベルの高い演奏が続いた中での出演でしたが、物怖じすることなく好演を披露し胸が熱くなるような演奏でした。



4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を11月12日(金)宇部高校で開催しました。各地から23名の吹奏楽部指導教員が集まり総会を開催いたしました。(不参加者は委任状提出)部会の活動や各校が持つ日頃の悩み等について意見交換を行いました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

今年度は東京から指揮者の中村睦郎先生をお招きして、11月12日(金)に宇部高校で講演を、13日(土)には防府西高校吹奏楽部をモデルバンドにして実際の指導をしていただきました。超一流の指揮者の講演と指導の見学は、今後の我々の研鑽と努力の必要性を思い知され、極めて有意義なものとなりました。



マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 内田 良一
(山口県鴻城高等学校教諭)

平成22年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

1. 第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成22年6月17日（木）

テーマ「清流に映える夢 未来に届けよう
文化の架け橋」

山口県民文化ホールいわくにて開催されました
慶祝演奏では、岩国商業高等学校吹奏楽部が、
マーチングの演技を披露されました。

曲目「スターウォーズ」

2. 第32回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、18日・19日の2日間同じ山口県民文化ホールで開催されました。
本部門では、誠英高等学校、慶進中学校・高等学校の2校が参加いたしました。

誠英高等学校（10名） ダンス・ダンス・ダンス

慶進中学校・高等学校（29名）パイレーツ・オブ・カリビアン

3. 第34回全国高等学校総合文化祭みやざき

平成22年8月1日（日）宮崎市街地にてパレード、8月3日（火）都城市早水公園体育文化センターにてマーチングバンド・バトントワリング部門の発表会が開催され、山口県代表として誠英高等学校・慶進高等学校のバトン合同チームが参加いたしました。

4. 部門研修

平成22年度マーチング講習会 3月29日（火）南総合センターアリーナ・グランドにて山口県吹奏楽連盟と合同主催で実施しました。



日本音楽部門

理事長 好川 眞知子
(下関南高等学校教諭)

平成22年度山口県高等学校文化連盟日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は「清流に映える夢 未来に届けよう 文化の架け橋」をテーマに、岩国高等学校主管により、6月17日(木)山口県民文化ホールいわくにを会場に盛大に開催されました。日本音楽部門は慶祝演奏では岩国高等学校琴部が「グリーンウインド」の見事な演奏を披露致しました。

2. 第32回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表大会

清々しい初夏の6月19日(土)、山口県立大津高等学校の主管で、風光明媚な油谷湾を見下ろす高台にある「ラポールゆや」にて発表大会が開催されました。17校が参加、そのうち箏曲12校、和太鼓3校、長唄三味線1校、能

楽1校の計17校、総勢122名の生徒が日頃の活動の成果を存分に披露しました。箏曲の最近の傾向として曲目の選定に難解な古典よりはむしろ、ポップスなどの身近でわかりやすい現代曲が好まれるようです。当日はケーブルテレビによる取材があり、地元の方の観客も多く、広報活動の重要性を実感しました。

3. 第34回全国高等学校総合文化祭宮崎大会

口蹄疫により開催自体が危惧された宮崎大会でしたが、「とき放て創造の力 熱き太陽の光とともに」のスローガンのもと、8月3日(火)と4日(水)の2日にわたり都城市の都城市総合文化ホールにて無事開催されました。今年は55団体(4県の県合同を含む)が参加、やはり全国レベルは高く、演奏される曲目もオリジナル曲あり、難曲ありと意欲に満ちたステージでした。そのような大舞台に今年は県代表として大津高等学校が出場、「海によせて」の伸びやかな演奏が披露されました。



美術・工芸部門

理事長 宮崎龍次
(下関商業高等学校教諭)

平成22年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

6月17日～19日、山口県民文化ホールいわくにて慶祝展示を行いました。岩柳地区の各校から作品を出品していただき、総合開会式に華をそえました。

2. 全国高等学校総合文化祭〈宮崎大会〉

作品展示は8月1日から8月5日まで、宮崎県立美術館で行われました。全国から430点の出品がありました。いずれもレベルの高い作品で見ごたえのある展示となりました。その中であって、本県から出品され平面作品5点、立体作品1点は、それぞれの個性の光を十分放っていたように思います。

特に映像作品については、これまでと違い、専用のシアターを用意してあり、着席して大型プロジェクタでじっくりと鑑賞できました。

反面、立体作品を展示するスペースが、当初の美術館の設計上から考慮されていなかったようで、中央にあるホールに集中して展示されたのは、残念でした。

さて、諸行事ですが、開会式と講演会は、展示会場隣の宮崎県立芸術劇場で行われました。アトラクションでは劇場自慢のパイプオルガンの演奏会が成されました。

講演会・講評会は宮崎大学准教授で、独立美術協会会員の画家、大泉佳広氏が、生徒の個性を引き伸ばすと言う観点から、教師の教え込みや技術指導の行き過ぎを、かなり辛辣

に批判されつつ、いくつかの作品について、講評なさいました。

我々県内の指導者にとっても、近年話題となっている「どこまでを指導とすべきか」との問題を、直接突きつけられることになりました。今後の積極的な協議が必要と思われるます。

本県からは岩国高校の村川さんの作品が選ばれ「上手なのはひとつの道具。それを活かして魅力的な画面を創造するように」とアドバイスをなさいました。

交流会は場所を移し、J A / A Z Mホールで行いました。事前に各自に配布されたシートにアイデアを練ってきて、円形の反射材で団扇を作るという内容でした。個人製作の形態なので、交流にはやや不向きかと思われましたが、全員の作品がひとつになり、巨大な日輪が現れると、会場から大きな拍手がおこり、一体となりました。

3. 県総合文化祭展示部門

別欄に掲載していますのでそちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月24日に下関商業高等学校で行いました。場所が下関ということも影響してか、やや少ない参加でしたが、美術専門でない部顧問も参加され、充実した協議会でした。下松高等学校の藤井先生に、研究発表をしていただきました。

書道部門

理事長 梶山 美智子
(長府高等学校教諭)

平成22年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式

今年度の慶祝展示は、岩国、岩国商業、高水、柳井学園の各高等学校から10点の作品を出品していただきました。10点全て違う古典の漢字や仮名、創作作品と大変バラエティに富んだ展示になっていました。

2. 第12回高文連書道部会生徒研修会

9月25日(土)から1泊2日で、山口県セミナーパークを研修会場として、一字大書創作、共同作品、県総合文化祭出品作品の練習に取り組みました。生徒47名、顧問10名という研修室が大変狭く感じられるような人数の参加でした。

一度に同じことができずに半分は臨書練習を机で行い、半分は一字大書を床で書くというようにして、なんとか全員で一緒に活動することができましたが、書くのにも、書いたものを置くのにも狭く、不自由な思いをさせてしまいました。参加人数が増えたことは大変喜ばしいことですので、来年度も多くの生徒のみなさんが参加してくれて、県内の書道部の交流が深められたらと思っています。

3. 全国高等学校総合文化祭〈三重大会〉

本年度の全国総合文化祭は、8月1日(日)から8月5日(日)まで、宮崎市で開

催されました。口蹄疫の影響が残る中、開催が危ぶまれ、北海道など一部の高校が参加出来なかったようですが、会場の宮崎市総合体育館では入り口に消毒マットや消毒噴射器が置かれ、万全の対策がとられていました。

会場には全国から303点の漢字や仮名の古典の臨書作品や創作などの大作が展示されていました。山口県からは、宇部工業、下関西、下関南、中村女子高等学校の4校が代表として出品しました。今回は全員漢字作品でしたが、古典の特徴を捉えながらも、それぞれに個性あふれる作品に仕上げてありました。残念ながら今年も入賞はかありませんでしたが、中村女子の有富さんの「伊都内親王願文」は行草の筆致や筆圧の変化、遅速など表現性豊かな作品であり、事務局の推薦により、2月1日からの「第1回全国青少年書き初め大会優秀作品展示会」において平成22年度全国高等学校総合文化祭優秀作品として展示されることが決定しております。

交流会は、8月2日(月)の開会式に引き続いて、16台のバスに分かれて堀切峠と西都原古墳に8台ずつ向かいました。堀切峠では、種田山頭火の俳句を短冊に書いて交換し合い、西都原古墳では勾玉制作をし交流を深めたようです。開催が危ぶまれた中、宮崎の観光地を訪れ、全国の高校生と交流を深めることができたことは、参加した生徒にとっても一生の思い出となるような強く印象に残る交流会となったことと思います。



写真部門

理事長 尾崎勝利
(新南陽高等学校教諭)

平成22年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1. 平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式での慶祝展示

6月17日(木)の総合開会式から、19日(日)までの音楽4部門発表会・連合音楽会の期間中、本年度全国大会出品(展示時は出品予定)作品を展示しました。

今年の展示作品は次の5点です。

岩国工業高等学校 小迫美由紀「棚田」
下松工業高等学校 藤井大河「ノックアウト」
新南陽高等学校 河村梨奈「お疲れ様」
南陽工業高等学校 中川達貴「川面にたたずむ」
宇部工業高等学校 澄川竜也「乱舞」

作品展示にご協力くださいました関係者の皆様に感謝いたします。

2. 平成22年度第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が8月1日～5日の期間に宮崎市の宮崎市民プラザにて行われました。308点もの各都道府県の代表作品による全国展は、さすがに優れた作品が多かったのですが、審査員の講評にもある「身近」「日常」という言葉で表される場面を題材にした写真(＝特別な場所や状況が必要のない写真)がそのほとんどを占めていました。作品作りにおいては「日常生活の中に作品表現の題材が転がっている」ことを意識して過ごすことの重要性を再確認しました。また、全ての出品作品が銀塩のみである都道府県は三重・京都・山口の3府県のみで、少数派であること(本県では今年度よりデジタル作品も選考対象)、また全国展の入賞作品30点中23点(最優秀・優秀賞は10点中10点)がデジタル作品であるという事実は、シャッターを数多く切ることが持つ、作品作りに対する優位性をまざまざと見せつけられているように感じました。しかし、デジタル機器の環境が整っていない写真部をもつ学校にとっては少し頭の痛い現実です。

残念ながら今年度の全国総文写真部門

における山口県の作品の入賞はありませんでした。

3. 第32回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月12日(金)～14日(日)周南市美術博物館にて県総文展示部門の作品展示が行われました。写真部門は今年度から初めてデジタル作品も選考の対象としたこともあって、例年より多い90点の作品が集まりました(その内デジタルが40%)。また、今回初めての取り組みとして、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦先生を迎えることができ、「プロの眼による選考」が叶いました。審査の結果9点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文福島大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ先生によって1点1点でいねいな講評がなされ、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

主管校の先生方、役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

4. 撮影研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に徳山高校に於いて、タカオカ邦彦先生による撮影研修会がありました。予想を超える48名(生徒40名、顧問8名)もの参加者に対して、校内での日常風景の撮影を想定した状況設定(生徒が学校に持ち帰りすぐに実践できる)での撮影指導が行われました。熱心に撮影している生徒達の様子は山口県の高校生作品のレベルアップを期待させるものでした。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ先生による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。



囲碁部門

理事長 高野 朝 男
(下関西高等学校教諭)

<平成22年度の主な活動>

1. 全国高等学校総合文化祭囲碁部門大会

- (1) 期日：8月4日(水)・5日(木)
- (2) 場所：宮崎県「日向市文化交流センター」
- (3) 出場者と成績：

団体戦

中島 剛(野田学園)・河西勇(下関西)
窄口 真実(高森) 4勝2敗 12位

個人戦

男子 杉山 純一(山口) 2勝4敗 34位
女子 橋岡ちひろ(徳山商工) 3勝3敗 29位

2. 山口県高等学校総合文化祭囲碁部門大会

「第32回山口県高総文祭の記録」に掲載



(中国大会 対局風景)

3. 第14回中国高等学校囲碁選手権大会

- (1) 期日：12月25日(土)、26日(日)
- (2) 場所：鳥取県「倉吉体育文化会館」
- (3) 参加者：79名
- (4) 成績：

個人戦

男子 村野 朋哉(下関西) 2勝3敗 17位
上村 陽介(下関西) 1勝4敗 27位
山野 建太郎(下関西) 1勝4敗 28位
佐藤 大樹(山口) 2勝3敗 17位
管田 健友(徳山商工) 1勝4敗 29位
浅谷 侑(徳山商工) 0勝5敗 32位
女子 武谷 明日果(防府商業) 2勝3敗 7位

団体戦

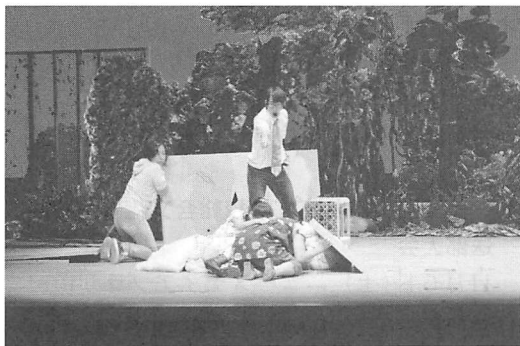
男子 山口高等学校 3勝2敗 3位
女子 徳山商工高等学校 4勝1敗 2位

4. 囲碁研修大会

- (1) 期日：2月6日(日)
- (2) 場所：山口南総合センター
- (3) 指導：日本棋院プロ棋士
山本 賢太郎五段

演劇部門

理事長 金森 健一
(下関商業高等学校教諭)



今年の演劇部門は、山口市で行った演劇講習会でスタートしました。6月12日に130名の生徒・顧問が集まり照明の基礎を学びました。講師は日本照明家協会の倉田敏生先生です。舞台照明の特徴について説明を受け、各種照明機材の取り扱い方およびボタンへの釣り込みの実習、そして調光卓による操作実習を行いました。

《平成22年度の主な活動》

1. 第32回山口県高等学校総合文化祭開会式

写真展示(県大会出場9校上演の写真展示)
[宇部中央 下関中等 防府西 新南陽
下関南 岩国 防府商業 下関商業 サビエル]

2. 地区大会(4地区23校参加)

上演一覧(出場校・上演作品・作者 ◇創作)
地区大会上演一覧 ◇は創作(上演校23校)

A 周防地区 8月11日(水) 周南市市民会館
・光丘 「たくらんけ」石原哲也
・華陵 「カツッ!」フローレス・デラコリーナ◇
・岩国 「麦に水を」結城翼
・新南陽 (BRIGHT~君がいるから~) 村重加菜・演劇部◇
・岩国総合高等学校「靴下スケート」中村 勉

B 山防地区 8月22日(日) 山口南総合センター
・山口中央「B・HAPPY」橋口征司
・防府西 「三人家族」石原哲也
・防府商業「OH!文化体育祭」加藤のりや
・中村女子「ラフメーカー」山尾彩香
・山口県鴻城「ラストサマー」渚太陽◇

・西京 「Do You Believe in Magic?
さかさまシンデレラとまがい
もの魔法使い」広瀬正人

C 宇部地区 8月22日(日) 宇部市文化会館
・宇部 「Who know s?」高原明良
・サビエル「コンビニ」東佑実子
・宇部西 「とおりゃんせ」遠海圭
・宇部中央「マイナスイオン」田上二郎

D 下関地区 8月11日(水)・12日(木)
下関市生涯学習プラザ
・下関西 「割腹自殺(仮)」恵比須平
・田部 「童話裁判」森本ゆかり
・下関中等「私のパパはモンスター」阿部いさむ
・梅光女学院 「あの電話」 宇田川豪大
・長府「絶滅危惧種全員集合!」加藤のりや
・下関工業「予想」ころ
・下関商業「ジャングル」内藤裕敬
・下関南 「ごはんの時間2い」青山一也

E 地区大会に参加できなかった加盟校(3校)
安下庄・周防大島(周防)、山口(山防)
宇部フロンティア大学付属香川(宇部)

3. 演劇講習会

期日 6月12日(土) 9時~17時
会場 山口市 YCAM(山口市)スタジオB

講師 倉田敏生 先生
[(有)エフェクト日本照明家協会正会員]
参加人数 生徒117名、顧問13名、合計130名
内容 スタッフ講習会(照明機材の特徴と
取り扱い方、説明と実習)

4. 第32回山口県高校総合文化祭

(演劇部門)
第29回山口県高等学校演劇大会
期日 11月13日(土)・14日(日)
会場 防府市公会堂

5. その他の活動

※周防地区 高等学校演劇新人大会
期日 2月6日(日)
会場 周南市社会文化ホール
参加校 周防地区5校

※宇部地区 高等学校演劇講習会
期日 2月13日(日)
会場 サビエル高校
参加校 宇部地区5校

※下関地区 第18回下関地区高等学校
演劇連盟合同公演
期日 3月22日(火)
会場 下関市生涯学習プラザ
参加校 下関市内6校(34人)
上演作品『男でしょ!』一宮高校演劇部作

放送部門

理事長 小倉 誠 司
(岩国高等学校教諭)

平成22年度山口県高等学校文化連盟放送部門
の主な活動について報告いたします。

1 第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)

8月4日(水) 5日(木) 清武町文化会館で行
われたアナウンス部門、朗読部門に各3名、J
Aカルチャーセンターで行われたオーディオピ
クチャー部門、ビデオメッセージ部門に各1校
が出場しました。

ニュースで見聞きしてはいたものの、実際に
口蹄疫対策として道路や建物入り口など、いた
るところに消毒用マットが設置されているの
を見ると、大会開催が危ぶまれたことを実感し
ました。しかし、大会は地元宮崎県の放送部員が
中心となった運営スタッフの頑張りで、熱気に
あふれたものでした。

結果は残念ながら入賞を果たすことができま
せんでした。入賞なしという結果は、10年間な
かったことですが、レベル的には例年と比べて
も遜色なく、日頃の練習の成果を十分に発揮し
てくれたものと思います。

(出場者、出場校は下記のとおりです。)

アナウンス部門

熊毛南高等学校 榊原穂香「平生町民の元気
の源」

宇部高等学校 嶋野寛章「おもちゃ病院」

徳山高等学校 長藤由貴子「シュガークラフト」

朗読部門

熊毛南高等学校

淡路歩惟「くちぶえ番長」重松清

熊毛南高等学校

高瀬友「ナイフ」重松清

山口農業高等学校

草刈俊「機関車先生」伊集院静

オーディオピクチャー部門

徳山高等学校「100年分の贈りもの」

ビデオメッセージ部門

岩国高等学校「祖生の柱松」

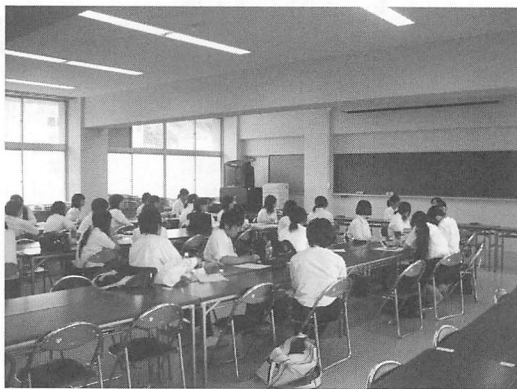
2 第32回山口県高等学校総合文化祭第17回放 送部大会

11月6日(土) ニューメディアプラザ山口で
行われました。

(結果の詳細は31ページの「第32回山口県高総
文祭の記録」をご覧ください。)

3 研修会

第1回6月13日(土) 岩国高校、第2回8月
9日(月) 山口高校で、昨年度に引き続き放送
インストラクターの安田知博さんを講師にお迎
えしての「読み」の技術向上の研修会を行いま
した。読み方だけでなく、普通の文章と「アナ
ウンス原稿」との違いについて多くを学びまし
た。3月21日(祝)に周南市市民会館にて第3
回の研修会を予定しています。



将棋部門

理事長 岡 茂 樹
(防府高等学校教諭)

事務局は防府高校で、例年通り3つの事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

6月17日(木)～19日(土)にかけて山口県民文化ホールいわくにで開催された総合開会式で、パネル写真を展示しました。昨年の全国三重総文で、女子団体戦第3位と活躍した防府高校の対局と表彰の様子を紹介しました。また、総合開会式では防府高校の主将高橋亜弥さんが代表して優秀芸術文化賞を受賞しました。

2. 第32回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第46回全国高等学校将棋選手権大会県予選

防府高校の担当で、5月22日(土)23日(日)の2日間、防府市文化福祉会館で開催されました。男子は16チーム、女子は3チームの参加で、初日は団体戦。2日目は10校72名の参加で、男女の個人戦が繰りひろげられました。男子団体戦は実力伯仲の接戦を下関西高校が、女子団体戦は昨年全国3位のメンバーが残る防府高校が、それぞれ連覇しました。男子個人戦は本命なき混戦を徳山高校1年生の三吉君が初制覇。女子個人戦は8人が参加するハイレベルなリーグ戦を、防府高校3年の中村さんが制しました。北村公一アマ六段、長岡俊勝山口県名

人の熱心な御指導も受けることができ、2日間で百名を超える参加者で大盛況の大会でした。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

防府高校の担当で、11月7日(日)に防府市文化福祉会館で開催しました。先生方は大会運営の研修と情報交換。生徒は、対局を中心とした棋力向上を図る内容でした。9校、48名の参加でした。北村公一アマ六段、長岡俊勝山口県名人の御協力を得て指導対局、大盤解説をしていただきました。

《研修対局の結果》

○男子

- 1位 福永晃彦 (宇部高専1年)
- 2位 原田達矢 (防府高校1年)
- 3位 木村昭太郎 (下関西高校1年)
- 3位 中堀和哉 (宇部高校2年)
- 5位 佐藤文昭 (大島商専2年)
- 5位 福永洋佑 (防府高校1年)
- 5位 三吉裕太 (徳山高校1年)
- 5位 島原慎太郎 (大島商専2年)

○女子

- 1位 足立光子 (防府高校2年)
- 2位 杉林知紗 (徳山高校2年)
- 3位 大村有恵 (防府高校1年)

年末に山口市で行われた中国新人大会では、木村君が第6位、足立さんが第3位に入賞しました。



文芸専門部門

理事長 國嶋洋治
(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、第7回文芸コンクール入賞者自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、個人最優秀者の作品を額装にした4作品を展示しました。あわせて県内各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

2. 全国高等学校総合文化祭宮崎大会

8月1日(日)から8月5日(水)の5日間、宮崎県延岡市を会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県代表として、西京高校3名、萩高校2名の計5名が参加しました。

4. 第8回文芸コンクール

今年度の県コンクールには13校101作品101名の応募があり、この中から各部門最優秀4作品、入選10作品を選びました。

1・2年生のみの応募でしたが(全国総文に推薦のため)力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

来年度開催予定の全国総文(福島大会)に2校を推薦しました。

5. 第12回高校生文芸道場中国ブロック大会(島根大会)

11月12日(金)文芸道場中国ブロック大会が、島根県民会館で開催され、全体の出席数も多く、手馴れた感で大会運営をこなしていました。講師の仁木先生の講演は盛り上がりが大変ありました。大会にあわせて行われた作品コンクールには山口県から文芸誌部門で山口高校が最優秀賞、小説部門に西京高校・斎藤君が優秀賞、俳句部門は下松工業高校・立山君が優秀賞、柳井商工・北中君の以上が入賞しました。山口県の作品も今後大いに期待できます。

なお、来年度は岡山県での開催となり、文芸専門部一同優秀な作品が入賞し全国総合文芸道場に推薦されることを願っております。



第32回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：山口県民文化ホールいわくに

主管校 平田博英
(岩国高等学校教諭)



第32回山口県高等学校総合文化祭の幕開けとして、平成22年6月17日（木）、山口県民文化ホールいわくに（シンフォニアいわくに）において、総合開会式が盛大に開催されました。この県高総文祭は山口県総合芸術祭の協賛事業でもあり、本年度で第四回目を迎えます。

『清流に映える夢 未来に届けよう 文化の架け橋』。明日の文化を担う高校生たちに向かって送られる今年度のテーマは、清流錦川、そして錦帯橋の町岩国から始めるに相応しい響きを奏でてくれました。

総合開会式には、慶祝演奏に参加して下さった県内からの関係部門生徒を始め、岩柳地区から実行委員として関係部門の生徒たちがそれぞれの役割を担い、旧岩国市内の高校から、岩国総合、岩国商業、岩国工業、そして岩国高校の生徒が参集し、文化交流による感動を得ることができました。同世代高校生の高いレベルの演奏は、日頃鑑賞機会の少ない生徒にとって

大きな驚きでもあったようです。

総合開会式の第一部である式典は、主管校の岩国高等学校より生徒代表の宮田情亜さんの開会宣言とともに、開場二階席の中央から演奏する同校吹奏楽部のファンファーレで開幕しました。本年度より山口県高等学校文化連盟会長に就任された松井 誠会長のあいさつ、山口県教育委員教育長からメッセージと続き、主管校生徒会長の岡田青也君から「先輩たちから受け継がれてきたこの総合文化祭を、さらに発展していけるよう共に頑張ろう」と県内全域の高校生に向かってエールが送られました。また、岩国市からは、岩国市長歓迎のことばが紹介されました。

次に、山口県高等学校文化連盟より、功労賞、優秀芸術文化賞、テーマ最優秀賞の表彰があり、「功労賞」では、昨年度まで高文連会長として高校生の文化活動に対し多大な貢献をされた、八幡フミエ先生が受賞されました。

表彰終了後は、各部門の紹介が行われました。本年度は、岩国高校放送部によって編集された映像とナレーションによる形式の紹介があり、13部門（吟詠剣詩舞を除く）によるそれぞれの活動を具体的にみることができました。

総合開会式後半の慶祝演奏は、岩国高等学校琴部の演奏から始まりました。前後半の幕間に多少ざわついていた会場も、琴の音色が会場に鳴り響くと、しっかりと演奏に耳を傾け、厳肅な雰囲気を作ってくれていたようです。次に岩国商業高等学校の吹奏楽部によるマーチングバンドが披露され、ステージいっぱいに繰り広げられたパフォーマンスに、会場全体が圧倒されました。岩国地区高等学校合同吹奏楽団による吹奏楽の演奏には、6校合同による音の迫力に、さらに圧倒されたようです。

また、本年度は、山口県高等学校管弦楽団による器楽・管弦楽のみの演奏が行われました。岩国地区には器楽・管弦楽部門の活動がないだけに、会場にいた生徒の多くには、新鮮な驚きがあったようです。そして山口県高等学校合唱団を交えての演奏は、ホールいっぱいに荘厳な空間を作り上げ、慶祝演奏の最後を締めくくる

演奏となったと思います。部門を超えての、さらには学校を超えての合同演奏は、県高総文祭総合開会式ならではの取り組みだと思いますし、会場に参集した鑑賞者である生徒にとっては、文化部の圧倒的なパワーを感じることでたひと時だったのではないかと思います。

そして、今年度もまた参加者全員による「翼をください」の合唱で、総合開会式の幕を無事下ろすことができました。

なお、進行及びアナウンスは、岩国高等学校放送部が担当し、総合開会式の運営には、岩柳地区の13部門に関係する部員が各役割を担いました。

また、今回の慶祝展示は、企画展示ホールの一画を使い、美術・工芸、書道、写真、文芸部門の作品展示と、囲碁、将棋、演劇部門の部門紹介を行いました。

今回運営に携わった岩柳地区を中心とした実行委員にとっては、無事に、そして、ほぼ予定していた時間どおりに終了できたことが幸いでした。この大会を開催するにあたり、関係諸機関、多くの先生方のご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。



◎慶祝演奏

- ◇〔日本音楽〕
『グリーンウィンド』
【演奏】岩国高等学校琴部
〈指揮〉なし（指導：木坂佳津江）
- ◇〔マーチングバンド〕
『スター・ウォーズ』
【演奏】岩国商業高等学校吹奏楽部
〈指揮〉藤本 博途（岩国商業高校）
- ◇〔吹奏楽〕
『カルミナ・ブラーナ』
【演奏】岩国地区高等学校合同吹奏楽団
〈指揮〉小松 秀之（岩国総合高校）
- ◇〔器楽・管弦楽〕
『行進曲「威風堂々」第1番』
【演奏】山口県高等学校管弦楽団
〈指揮〉宮本 敬司（柳井高校）
- ◇〔合唱、器楽・管弦楽〕
“カンタータ《土の歌》”より
『大地讃頌』
“オラトリオ《メサイア》”より
『ハレルヤ・コーラス』
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
〈指揮〉佐々木真一（岩国高等学校）
- ◇〔全員合唱〕
“翼をください”
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団

◎慶祝演奏出演校

〔日本音楽〕
山口県立岩国高等学校
〔マーチングバンド〕
山口県立岩国商業高等学校
〔岩国地区高等学校合同吹奏楽団〕
岩国総合 岩国商業 岩国工業 高森 高水
岩国・・・各高等学校
〔山口県高等学校合唱団〕
防府 山口中央 山口 宇部中央 萩
野田学園 宇部フロンティア大学付属香川
中村女子 萩光塩学院 岩国・・・各高等学校
〔山口県高等学校管弦楽団〕
下関南 山口中央 防府 柳井・・・各高等学校

◎慶祝展示

- ◇〔美術・工芸〕岩柳地区各高等学校
- ◇〔書 道〕岩柳地区各高等学校
- ◇〔写 真〕岩国工業 下松工業 新南陽
南陽工業 宇部工業
・・・各高等学校
- ◇〔囲 碁〕大会風景
- ◇〔将 棋〕大会風景
- ◇〔演 劇〕大会風景
- ◇〔文 芸〕昨年度個人最優秀作品

◎山口県高等学校文化連盟表彰者

〔功 勞 賞〕

八幡フミエ…前山口県高等学校文化連盟会長
（前山口県立山口中央高等学校校長）
平成19年度より3年間に渡り、
会長として本連盟の発展と本
県高校文化活動の充実に多大
な功績を残した。

〔優秀芸術文化賞〕

防 府 高 校…第33回全国高等学校総合文化祭
囲碁・将棋部（三重大会）将棋部門
女子団体3位
阿武 貴裕（山口県立山口中央高等学校）
…第33回全国高等学校総合文化祭
（三重大会）囲碁部門
団体戦優勝
堀本 範子（山口県立周防大島高等学校）
…第33回全国高等学校総合文化祭
（三重大会）囲碁部門
団体戦優勝
河野 浩和（山口県立下関西高等学校）
…第33回全国高等学校総合文化祭
（三重大会）囲碁部門
団体戦優勝
木村友香理（山口県立山口高等学校）
…第33回全国高等学校総合文化祭
（三重大会）放送部門
朗読部門 優秀賞

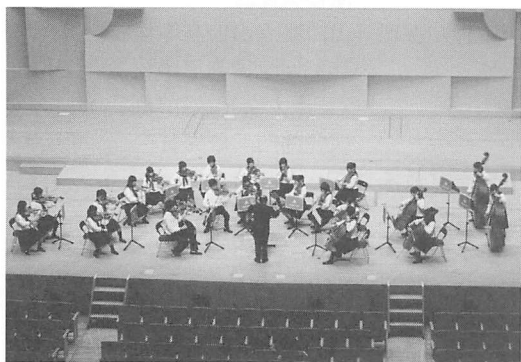
〔テーマ最優秀賞〕

林 みのり（山口県立岩国高等学校）

理事長 飯田 幸生
(下関南高等学校教諭)

平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月18日(金)、19日(土)の2日間にわたり山口県民文化ホールいわくににおいて催されました。また、前日の17日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度は新しい試みとして、器楽・管弦楽部門だけの単独演奏をさせて戴きました。柳井高校の宮本先生の指揮のもと、100名を超える合同オーケストラで、エルガー作曲の行進曲「威風堂々第1番」を演奏させて戴きました。



また、今年も昨年に引き続き、合唱部門と合同で、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コーラス”そして佐藤眞作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、岩国高等学校の佐々木先生の指揮のもと躍動感あふれる荘重で輝かしい音楽が演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。

多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかな音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の光大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。

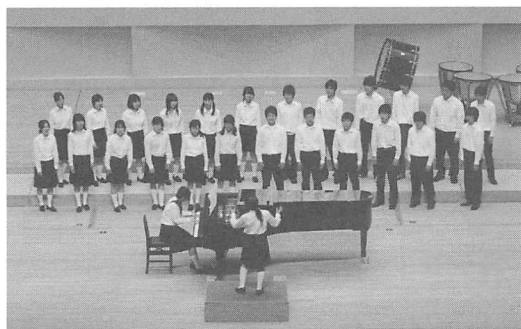


合唱部門

会場：山口県民文化ホールいわくに

理事長 田 中 睦
(野田学園高等学校教諭)

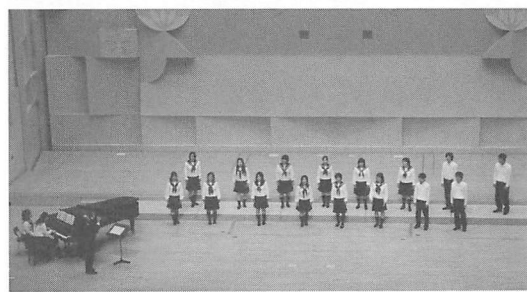
平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月17日(木)「シンフォニア岩国」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱(岩国、防府、山口、山口中央、野田、宇部中央、萩、萩光塩、香川の9校・計174名)は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。毎年、男声が少人数であるためバランス面で心配していましたが、生徒達の熱の入った伸び伸びとした演奏のお陰で、素晴らしい合唱ができました。日頃小人数で演奏活動をしている生徒達は、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になったことと思います。



また、音楽4部門の発表は、6月18日(金)、19日(土)の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、8校(岩国、防府、山口、山口中央、野田、中村女子、萩、香川)出演者は181名でした。各校ともよく工夫されたプログラムで、美しく柔らかな歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

例年、合唱部の廃部・休部による参加校の減少が問題となっていました。今年度は昨年度より、総合開会式・音楽4部門発表会ともに参加人数が30名弱の増加となり、明るい話題となりました。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、これを契機に益々一人でも多くの合唱仲間が増えるよう願っています。

来年度は、“光市民ホール”で開催されます。また次回も素晴らしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：山口県民文化ホールいわくに

理事長 志道博資
(宇部高等学校教諭)

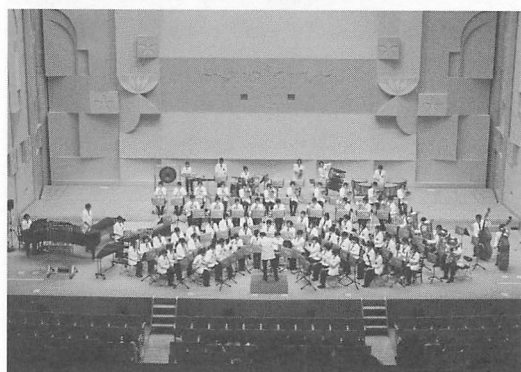
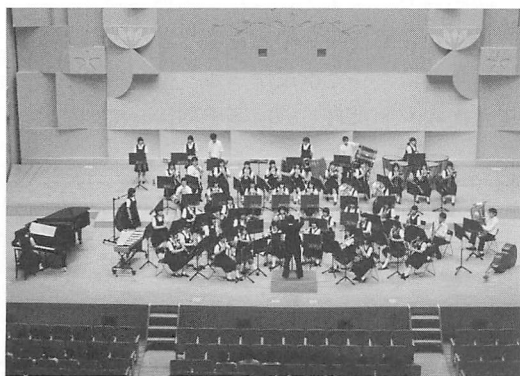
平成22年度第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月17日(木)山口県民文化ホールいわくにで開催されました。開幕式典は佐々木真一先生指揮による岩国高校吹奏楽部演奏の、オリジナルファンファーレで華やかに開会いたしました。また、総合開会式後の慶祝演奏では岩国地区数校の高校で編成した合同吹奏楽団が、小松秀之先生(岩国総合高校)指揮のもと「カルミナ・ブラーナ」の見事な演奏で聴衆を魅了しました。

音楽4部門発表会は18日(金)と19日(土)の2日間開催され、55団体1,842名の吹奏楽部員が参加し、編成の大小に関わらずどの団体も素

晴らしい演奏を披露しました。初日の最後は岩国商業高校吹奏楽部(藤本博途先生指揮)、2日目の最後は岩国高校吹奏楽部(佐々木真一先生指揮)の伴奏で、「翼をください」を会場全員で合唱し盛会のうちに発表会を終えることができました。

最後になりましたが、主管校の岩国高校をはじめ岩国地区の生徒、先生方には大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

来年度は光市民ホールでの開催となっております。素晴らしい大会になることを期待しております。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：山口県民文化ホールいわくに

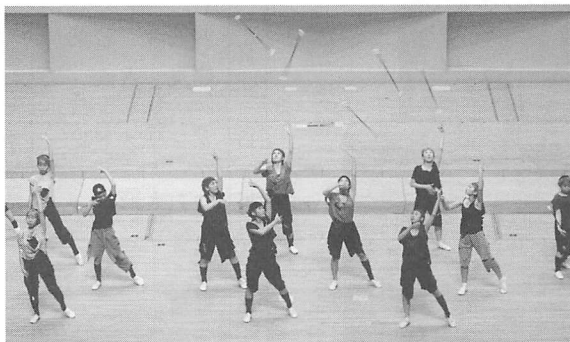
理事長 内田 良一
(山口県鴻城高等学校教諭)

第32回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、平成22年6月17日(木)「清流に映える夢 未来に届けよう文化の架け橋」というテーマのもと、山口県立岩国高等学校主管で山口県民文化ホールいわくににて開催されました。慶祝演奏では岩国商業高等学校吹奏楽部がマーチングの演技を披露されました。曲目は「スター・ウォーズ」、合唱や吹奏楽とは全く違う感動が味わえたのではないのでしょうか。山口県はマーチングに取り組んでいる学校が少なく、こういう演技を見ることもほとんどないと思います。これから1校でもマーチングの参加が増えるよ

うに、努力したいと思います。来年度は国民体育大会があります。総合開会式でマーチングが盛大に披露されますので、是非ご覧ください。

翌日の音楽4部門発表会では、バトントワリングで誠英高等学校、慶進中学校・高等学校が参加いたしました。それぞれ日頃の練習の成果を発表しました。

誠英高等学校(10名)「ダンス・ダンス・ダンス」・慶進中学校・高等学校(29名)「パイレーツオブカリビアン」の演技が披露されました。



日本音楽・吟詠部門

会場：ラポールゆや

主管校 飯田恵子
(大津高等学校教諭)

第32回山口県高等学校総合文化祭の日本音楽・吟詠部門発表大会が6月19日(土)、長門市のラポールゆやにて開催されました。当日は生憎の雨模様で、せっかくの眺望が霞んでいたのが残念でしたが、晴れた日にはロビーの窓から海が見える絶景が望める会館です。

今年は県下17校の高校生が集い、例年のごとく琴や太鼓、仕舞、長唄などが披露されました。反響板を使用した演奏は、各校とも、一人一人の奏でられた音がしっかり会館に響きわたり、会場からたくさんの拍手を頂きました。

午前中最後には、防府高等学校、聖光高等学校、大津高等学校により作曲 菊城正明による「よろこび」を合同演奏しました。当日初めての顔合わせでしたが、息もぴったりと合い、楽しく演奏できたと思います。

閉会式では講師の山崎凱千先生にユーモアたっぷりの温かくありがたい御講評をいただき、各校ともこれからの活動の大きな励みになったと思います。

来年度は柳井で開催されます。また次回もすばらしい発表を期待したいと思います。



第32回山口県高等学校総合文化祭
日本音楽・吟詠部門発表大会 プログラム

	演 目	種別	学 校 名
1	海によせて	琴合奏	山口県立大津高等学校
2	砂山	琴合奏	山口県立周防大島高等学校
3	さくらファンタジー	琴合奏	山口県立萩高等学校
4	鶴亀 狸々 國栖	仕 舞	誠英高等学校
5	陶ヶ岳太鼓	郷土芸能	山口県立山口南総合支援学校
6	サクラ	琴合奏	山口県鴻城高等学校
7	グリーンウィンド	琴合奏	山口県立岩国高等学校
8	よろこび	琴合奏	萩 周防大島 防府 下関短大付属 聖光 大津
9	柱 万歳	郷土芸能	早鞆高等学校
10	四季の歌 夏の 思い出 荒城の 月メドレー	琴合奏	山口県立柳井高等学校
11	アイネ・クライネ ナハトムジーク	琴合奏	山口県立徳山高等学校
12	君をのせて 風の丘	琴合奏	山口県立下関南高等学校
13	高水八景	長 唄	高水高等学校
14	鴻城魂 若葉 焰炎 古武	和太鼓	宇部鴻城高等学校
15	ジブリメドレー	琴合奏	下関短期大学付属高等学校
16	つち人形	琴合奏	山口県立防府高等学校
17	京響	琴合奏	聖光高等学校
18	野菊	琴合奏	山口県立田布施農業 高等学校

展示3部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：周南市美術博物館

主管校 島田 憲 貢
(光丘高等学校教諭)

平成22年度に行われた第32回山口県高等学校総合文化祭展示部門は、「清流に映える夢 実来に届けよう 文化の架け橋」のテーマのもと、周南地区の開催となった。

会場を周南市美術博物館とし、平成22年11月12日(金)～14日(日)の3日間で実施した。

展示は、美術博物館1階の企画展示室を美術・工芸、書道、写真の各部門に分け展示を行った。展示スペースは、1階企画展示室のみであったので、美術・工芸部門については3段掛け展示となり、多少窮屈な感じではあったが、美術館での展示ということで展覧会としては充実した展示となったと思う。

会期は、次の<日程>のとおり11月の開催となった。

11月11日(木)	9:30	作品受付
	12:00	審査会
	14:00	会場設営
	17:00	閉館
11月12日(金)	9:30	開館 オープニングセレモニー
	17:00	閉館
11月13日(土)	9:30	作品受付
	17:00	閉館
11月14日(日)	9:30	開館
	12:00	表彰式
	12:30	講評会
	16:00	展示終了 作品返却

<作品応募について>

作品応募締切を9月24日(金)とし、応募校47校、応募点数は各部門それぞれ、美術・工芸144点、書道76点、写真90点であった。

<準備段階>

事前に周南地区各高等学校に対して、各部門の部活及び顧問、部活生徒数を確認し、5月19日に主管校である光丘高等学校へ周南地区各校各部担当者にお集まりいただき、第1回地区運営委員会を行った。第1回地区運営委員会では、今年度の県総合文化祭展示部門の運営概略、オープニングセレモニー、表彰式の内容、各部門の出品規定、大会期間の教員、生徒の役割分担、今後のことなどの確認を行った。

6月下旬には、主管校の校内運営委員会を立ち上げ、主管校としての各種業務の割り振りを行い、大会に向けての体制を整えた。

目録作成は、9月24日(金)の作品応募締切を受け、今年度試行的に紙ベースとデータファイルベースでの応募とし、それを基に目録データを作成し数度の校正を行った。

第2回地区運営委員会は、大会会場である周南市美術博物館の事前視察も行うため、美術博物館に近い徳山高等学校において10月13日に行った。

大会まで約1ヶ月前でもあり、会場設営からオープニングセレモニー、表彰式、講評会、会場片付けまでの各詳細について、当日の動きや設営について具体的に検討をした。会議後、周南市美術博物館へ移動し、会場施設の様子、搬入出の経路、来賓の控え室等の確認を行った。

<設営段階>

11月11日(木)周南地区各高等学校の美術部、書道部、写真部の生徒と顧問の先生方、主管校の先生方に作品の受付、搬入作業、梱包の分類保管、会場設営等々大会の準備を行った。本大会が美術、書道、写真の各部活の生徒主体の大会であることから、生徒一人ひとりが自覚を持って運営に当たれるよう、また指示にも自主的に動けるよう、作業開始前の事前説明で作業内容の詳細を説明した。さらに、分担を越えて相互に協力して意識を持って作業に取り組めるよう留意した。

受付後、作品の梱包材は、返却方法、地域、部門に分け美術館バックヤードに保管した。

<来場者数>

会期中の来場者数は次のようになった。

11月12日(金)/13日(土)/14日(日)

164人 144人 322人

<オープニングセレモニー>

11月12日(金)開場とともに、エントランスホールで周南市長、周南市教育長、山口県総務部学事文書課長、県教育庁高校教育課長、高文連会長、高文連美術・工芸部門会長をお迎えしオープニングセレモニーが厳粛に行われた。

<表彰式・講評会>

11月14日(日)正午、オープニングセレモニー同様、エントランスホールで表彰式が行われた。主催者、来賓の挨拶や紹介に続いて、高文連会長より第35回全国高等学校総合文化祭出品候補者に表彰状が授与された。福島大会への参加と成果を期待したい。表彰式の後、部門別

に講評会を行ったが、多くの参加者からの質問があり、好評のうちに終わった。

〈終わりに〉

主管校ということで大会の運営業務は、なかなか骨の折れるものでしたが、約半年間に渡って、経験のある先生方や多くの先生方からのご指導とご助言をいただきありがとうございます。また、地区の生徒たちも本当によく動いてくれて、周南地区の力を結集して、無事に大会を創り上げることができたことに深く感謝いたします。

来年度引き受けの山防地区でも、素晴らしい大会になりますよう、心から願っております。

美術・工芸部門

今年も150点を越える、レベルの高い作品が集まりました。平面作品、立体作品ともに高水準のものが多く、審査もかなり慎重に行いました。審査員にあたっては、審査員の創意を持って決定をしようという確認をし、本当に白熱した審査でした。

全国大会の今年の講評会でも取り上げられましたが、教師は導くべきものであり、教え込むべきではないというのが、全国的な美術教育のスタンスになってきています。過去から続く、技術重視型の指導をなさっている学校には、不満の残る結果だったと思いますが、全国の流れを鑑み、ご指導方針の転換をお願いいたします。

例年のことですが、賞には数に限りがあり、受賞に値するレベルの高い技術の作品に、賞を授与できなかったのは本当に残念です。今回受賞されなかった生徒諸君にも、顧問の先生方から適切にご指導をいただきますよう、この場を借りてお願いいたします。

(理事長 宮崎)

書道部門

書道部門には県内25校より76点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文ふくしま大会への出品校が21校だったため、全国の規定により全国大会への出品候補作品が今までの4点から3点になったことは残念であり、今年度の参加生徒のみなさんには大変狭き門となってしまいました。今年度は出品校も出品数も昨年度より増加しており、全国大会への出品候補作品数が4点となる25校に復活し喜ばしく思います。ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。



さて、今年度の作品傾向として、全国大会の傾向と同様に漢字の多字数書が出品されたことは特筆すべきことではないでしょうか。集中力と根気のいる制作に敢えて挑戦した生徒のみなさんには敬意を表したいと思います。最終日の講評会は、下関中等教育学校の生田先生、徳山高校の山吹先生お二人により歯切れ良く進められました。残念ながら参加生徒が少なかったのですが、講評会での先生方の講評は明日からの部活動の参考となるものですから、来年度はぜひ書道部のみなさんには参加していただきたいと感じました。

書道部の部員は増加傾向にあるようです。来年度もぜひ多くの生徒のみなさんが出品してくれることを期待しております。

(理事長 相山)

写真部門

11校から90点の作品が出品されました（前年度は63点）。今年度から初めてデジタル作品（全体の40%）も選考の対象としたことが作品点数増加の理由であると思われます。また、今回初めての取り組みとして、プロカメラマンである（社）日本写真家協会会員のタカオカ邦彦先生をお迎えし、審査・講評のほか展示最終日に撮影研修会の講師をお願いし、「プロによる写真指導」を実現させることができました。

展示写真審査の結果9点の作品が優秀賞に選ばれ、そのうち下松高校・宇部工業高校・新南陽高校の3校5点の作品が来年度福島県で行われる第35回全国高等学校総合文化祭（写真部門 8月3日（水）～7日（日））への出品候補作品となりました。

最終日に徳山高校を会場として、タカオカ先生による撮影研修会がありました。生徒・顧問計48名が参加者し、校内での日常風景の撮影を想定した撮影指導が行われ、短いながらも有意義な活動ができたと思います。ご協力くださった徳山高校の先生方に感謝いたします。

(理事長 尾崎)



第32回山口県高等学校総合文化祭展示部門出品校一覧表

No.	学 校 名	美術	書道	写真	No.	学 校 名	美術	書道	写真
		作品数	作品数	作品数			作品数	作品数	作品数
1	周 防 大 島	2			25	小 野 田			10
2	岩 国	5	4		26	青 嶺	4		
3	岩 国 商 業	5			27	田 部	4		
4	岩 国 工 業	2		1	28	西 市	3		
5	柳 井	4			29	豊 浦	5	1	
6	光	5	2		30	長 府	5	2	
7	光 丘	5			31	下 関 西	4	3	6
8	下 松	4		8	32	下 関 南	5	4	
9	下 松 工 業	3		7	33	大 津	1		
10	熊 毛 北			10	34	萩 商 工	1		
11	徳 山		4		35	下関中等教育	5	4	
12	徳 山 商 工		1		36	防府総合支援	2	1	
13	新 南 陽	4		4	37	山口南総合支援	2		
14	南 陽 工 業			9	38	山口総合支援	5		
15	防 府	5	4		39	下 関 商 業	5	4	
16	防 府 商 業	4			40	高 水	5	4	
17	山 口	5	4		41	誠 英	5		
18	山 口 中 央	3	4		42	中 村 女 子		4	
19	西 京	4	1	10	43	野 田 学 園		3	
20	宇 部	1	4	9	44	慶 進	2		
21	宇 部 中 央	5	3		45	香 川	5		
22	宇 部 西	5	4		46	長 門		3	
23	宇 部 商 業	1			47	萩光塩学院	4	2	
24	宇 部 工 業		3	10					

第32回山口県高等学校総合文化祭展示部門出品校一覧表

美術・工芸部門

優秀賞 美術・工芸部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
岩 国 高 等 学 校	2	中原奈津美	鮮魚売ってます！	F 50
下 松 高 等 学 校	2	兼重紗也香	私の世界	52×52×120
山 口 高 等 学 校	1	田村 絵里	宵闇	B1
青 嶺 高 等 学 校	2	中津留翔子	人間製造会社(株)	F 50
下関中等教育学校	1	若林 奈苗	日常	F 50
下関商業高等学校	2	島田 若奈	海月	B1

優秀賞 美術・工芸部門

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
岩 国 高 等 学 校	2	北林さつき	田舎町	F 50
岩 国 高 等 学 校	2	邊兼 萌	行き先	S50
岩 国 高 等 学 校	2	林 みのり	だちょう倶楽部	50×70×60
下 松 高 等 学 校	2	藤田 智乃	モンロー	102×72
下 松 高 等 学 校	2	三浦真由美	毒リングを探せ	102×72
下 松 高 等 学 校	3 3	金沢友理恵 国木 知美	Qu da co.	映像
徳 山 高 等 学 校	2	齋藤 美穂	生きる	72×103
徳 山 高 等 学 校	3	畑野亜麻衣	We are the world	72×103
新南陽高等学校	2	原 彩花	薄幸（発光）少女	B 2
宇部中央高等学校	1	植野 葵	セーラー服	B 1
宇部中央高等学校	3	吉本 夏希	春は？まだ遠いけれど	F30
青 嶺 高 等 学 校	2	伊藤 春香	太陽のかおり	F50
長 府 高 等 学 校	2	西澤 佑	創像の中で	F50
下関西高等学校	3	山住 雅英	凸の記憶	117×91
下関南高等学校	2	清水あかり	理解者	F50
下関南高等学校	2	河田 大樹	求める者たち	F50
下関南高等学校	1	藤田 彩愛	Another World	B 1
下関中等教育学校	1	来嶋美千翔	帰り道	F 50
下関中等教育学校	1	藏田 美裕	最後	F 50
下関中等教育学校	3	植田 春奈	女天下	F 50
下関中等教育学校	3	鋤田 喜子	浮遊	F 50
山口総合支援学校	3	中尾 祐樹	大きな鳥	43×35
下関商業高等学校	1	西本 祐子	誰も知らない深海	B 1

書道部門

優秀賞 書道部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
山 口 高 等 学 校	2	大塚 友誉	臨 蜀素帖	半切縦
下関中等教育学校	2	疋田 子規	臨 礼器碑	半切縦
長 門 高 等 学 校	1	時山 実来	蘭亭序一節	半切縦

優秀賞 書道部門

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
光 丘 高 等 学 校	1	福田 真季	雁塔聖教序	半切
徳 山 高 等 学 校	2	邊原佳乃子	臨 十七帖	半切
山 口 高 等 学 校	2	小林 遼	臨 光明皇后 樂毅論	135×35
山口中央高等学校	2	多田奈津美	臨 蘭亭序	34×136
豊 浦 高 等 学 校	1	河合 宥希	臨 「雁塔聖教序」	150×50
下関西高等学校	1	岡田 絢夏	臨 「孔子廟堂碑」	半切 150×52
下関商業高等学校	2	山根 藍	臨 風信帖	170×50
野田学園高等学校	1	原田 詩織	臨 曹全碑	半切タテ

写真部門

優秀賞 写真部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
下 松 高 等 学 校	2	藤田 智乃	ここほれ！（デ）	A3
下 松 高 等 学 校	2	兼重紗也香	鬼さんこーちら（デ）	A3
新南陽高等学校	2	永富さと子	なんともいえねえ	34×41
宇部工業高等学校	1	潮中 稜汰	勝利	54×65
宇部工業高等学校	1	立石 裕子	丁髷	54×65

優秀賞 写真部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
下 松 高 等 学 校	3	国木 知美	Color Ball Fashion（デ）	A3
南陽工業高等学校	3	中川 達貴	夕闇に迫る（デ）	42.4×57.8
南陽工業高等学校	1	大賀 愛斗	はじめの一声	53×64
宇 部 高 等 学 校	2	星野 凜	山村の裏面	四つ切り

囲碁部門

会場：山口県立下関西高等学校

理事長 高野 朝 男
(下関西高等学校教諭)

第32回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第22回大会兼第35回全国高等学校文化連盟囲碁部門第24回大会県予選を、10月24日(日)に下関西高校で開催しました。参加校は10校・参加者数は48名で、盤上で高校生同士の熱い戦いが繰り広げられました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦に分かれて行われる大会で、代表決定戦には16名、段級位認定戦には32名の選手が参加しました。

<大会結果>

男子団体 優 勝 山口県立山口高等学校
女子団体 優 勝 山口県立徳山商工高等学校

男子個人 優 勝 山 口 安藤 翼
2 位 山 口 石川 征憲
3 位 下 関 西 村野 朋哉

女子個人 優 勝 徳山商工 橋岡ちひろ
2 位 防府商業 武谷明日果

<上位大会への出場権>

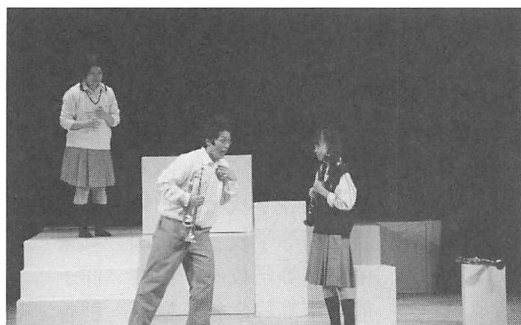
男子個人1位と2位、および女子個人1位は平成23年8月6日、7日に福島県福島市で開催される全国大会の団体戦のメンバーになります。また、男子個人3位と女子個人2位は同大会の個人戦に出場します。

また、12月25日(土)、26日(日)に鳥取県倉吉市で開催される第14回中国高等学校囲碁選手権大会には、男子団体戦に山口高校、女子団体戦に徳山商工高校、男子個人戦には、団体戦出場者を除く県内予選の男子上位6位までの選手、女子個人戦には、上位1名が出場しました。結果については、「囲碁部門の報告」をご覧ください。



演劇部門

会場：防府市公会堂

理事長 金森 健一
(下関商業高等学校教諭)

今年の県大会は11月12日(金)リハーサル11月13日(土)・14日(日)本番という日程で、防府市公会堂に県内4つの地区の代表校9校が集まり開催されました。日程が例年より2週間以上遅く、大会への準備にかけける時間に余裕があったこともあるのか、今年の上演作品はいずれも刺激的かつ感動的な力作ぞろいでした。そして中国大会に県代表として出場することになったのは宇部中央高校と華陵高校の2校でした。どちらも素晴らしい作品でしたが、特に華陵高校は中国地区大会で、中国5県の代表校11校中、最優秀(第1位)に選ばれ全国大会に出場することになりました。これは2005年以来、6年ぶりとなる快挙です。演劇部門の場合、一校の上演時間が60分と長いので、全国大会に出場できるのは中国5県からわずか1校です。そこに山口県の代表が選ばれるということは、山口県の高校演劇の水準が中国地区でトップレベルにあるということです。

審査・講評は今年も篠崎先生にお願いしました。講評ではドラマを創るポイントについてのお話をいただきました。ドラマとは、主人公の本音を隠すことだ。主人公には本音を言えない事情があるが、相手はそれを知らない。しかし観客だけは主人公の本音が痛いほどよく分かる。そこにドラマが生まれるのだ。例えば友情や愛情という気持ちを、主人公は抱いているが、それを相手にうまく伝えることができない。しか



しそんな主人公の気持ちを観客だけが知っている。ここに観客と舞台との一体感が生まれるのだ。これがドラマの肝なのだそうです。

さて、平成23年度の演劇部門の県大会は周南市市民会館で10月末に開催されます。この大会でも楽しくも感動的な多くの舞台に出会えることを今から期待しています。

第32回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門)
第29回山口県高等学校演劇大会

上演校(上演順)	上演作品	作者 ◇は創作
山口県鴻城高等学校	ラストサマー	渚 太陽 ◇
下関商業高等学校	ジャングル	内藤裕敬
岩国総合高等学校	靴下スケート	中村 勉
下関南高等学校	ごはんの時間2い	青山一也 作 演劇部調色
山口中央高等学校	B・HAPPY	橋口征司 作 演劇部調色
◎宇部中央高等学校	マイナスイオン	田上二郎 作 演劇部調色
◎○華陵高等学校	カツッ!	フローレス・デラコリーナ◇
田部高等学校	童話裁判	森本ゆかり 作 演劇部調色
防府商業高等学校	OH!文化体育祭	加藤のりや

◎は最優秀校(中国大会出場) ○は創作脚本賞

講師・審査員

篠崎 光正(演出家 桐朋学園芸術短期大学・東京藝術大学非常勤講師)

大曲 信介(山口県高等学校演劇協議会常任理事 サビエル高等学校演劇部顧問)

羽鳥 敦司(山口県高等学校演劇協議会常任理事 新南陽高等学校演劇部顧問)

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 小倉 誠 司
(岩国高等学校教諭)

11月6日(土) 山口市のニューメディアプラザ山口で第32回山口県高等学校総合文化祭第17回放送部大会が開催されました。朗読部門31名(昨年23名)、アナウンス部門23名(昨年27名)、オーディオピクチャー部門3校(昨年4校)、ビデオメッセージ部門6校(昨年4校)が出場しました。

朗読部門、アナウンス部門の審査員は、テレビ山口の横溝洋一郎アナウンサー、山口朝日放送の柘植忠司アナウンサー。番組(オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門)の審査員は山口放送ディレクターの徳永謙太郎さんをお願いしました。採点だけでなく、発表者一人一人に対して丁寧なコメントを書いていただいたり、大会閉会後も遅くまで希望者に個別指導をしていただくなど、とても勉強になった一日になりました。

生徒各自が、自分の印象に残った発表者や番組に対する感想を書いて該当者に渡すという一昨年度からの試みを今年も行ったところ、様々な感想が寄せられて、好評でした。



大会の結果は下記のとおりです。

アナウンス部門

最優秀賞	下松高等学校	古賀 舞美
優秀賞	光高等学校	木本 健太郎
	徳山高等学校	永野 瀬理花
入賞	岩国高等学校	新山 真梨
	徳山高等学校	白井 洋子
	熊毛南高等学校	榊原 穂香

朗読部門

最優秀賞	山口高等学校	何 瑤
優秀賞	徳山高等学校	下村 楓
	山口高等学校	高佐原 舞
入賞	熊毛南高等学校	笹木 愛美
	高水高等学校	藤中 佑介
	光丘高等学校	松岡 里奈

オーディオピクチャー部門

最優秀賞 岩国高等学校 盛り上げよう！山口国体

ビデオメッセージ部門

最優秀賞	岩国高等学校	岩国藩鉄砲隊
優秀賞	山口高等学校	大内のお殿様

各部門の最優秀賞、優秀賞を受賞した個人・団体は、8月6日(土)7日(日)に福島県郡山市で行われる第35回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。

将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 岡 茂 樹
(防府高等学校教諭)

全国高等学校総合文化祭将棋部門大会の県予選を兼ねて、5月22日(土) 23日(日)の2日間開催しました。開会式には、将棋専門部会長の長谷川信明先生、山口県教育庁高校教育課の内田正弘先生、事務局の西村正浩先生をお迎えしました。団体戦、個人戦の2日間開催で、延べ140人以上の盛り上がった大会になりました。

男子団体戦には16チームが参加し、4ブロックに分け総当たりのリーグ戦を行いました。各組2位までが決勝トーナメントに進出します。ベスト4に残ったのは防府B、下関西A、徳山A、防府Aでした。混戦が予想されましたが、下関西が集中力を発揮して全勝で連覇しました。女子団体戦は、防府と徳山と宇部の総当たり戦。昨年全国3位の本命防府に宇部が迫いしましたが、選手層の厚さを活かして防府が連覇しました。

男子個人戦は64人のトーナメント戦。3回戦までは20分切れ負け制、4回戦からは30秒の秒読みがつきます。決勝戦は三吉君と村中君の徳山高の先輩後輩の対戦になりました。新鋭の三吉君が先輩を振り切って初優勝を飾りました。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局を行いました。

女子個人戦は8人の参加で、スイス式トーナメント戦。防府高校の中村さんが、5連勝で初優勝しました。

〈男子団体戦〉16チーム

- 第1位 下関西高校A
植村卓也・河西 勇・木村昭太郎
- 第2位 徳山高校A
村中隆二・有吉亮太・三吉裕太
- 第3位 防府高校A
村田俊洋・井上勇氣・原田達矢

〈女子団体戦〉3チーム

- 第1位 防府高校
横山小百合・高橋亜弥・足立光子

〈男子個人戦〉64人

- 第1位 三吉 裕太(徳山高校)
- 第2位 村中 隆二(徳山高校)
- 第3位 吉留 大貴(防府高校)
- 第3位 岩田 和大(徳山高校)
- 敢闘賞 岩井 誠(宇部工高校)
- 原田 達矢(防府高校)

〈女子個人戦〉8人

- 第1位 中村 彩乃(防府高校)
- 第2位 弟子丸優希(防府高校)
- 第3位 鈴木 里沙(宇部高校)

団体戦と個人戦の優勝者、女子個人戦の準優勝者は宮崎県日南市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。



文芸部門

理事長 國嶋 洋 治
(徳山商工高等学校教諭)

第32回山口県高等学校総合文化祭〔第4回山口県総合芸術文化祭〕協賛事業

第8回山口県文芸コンクール大会結果報告

参加校13校

応募参加数総数101名 応募作品数101作品

部門別応募作品数

小説部門27作品 詩部門28作品 短歌部門19作品 俳句部門15作品

入賞結果（集計評点数による）

最優秀学校賞 1位 山口県立柳井商工高等学校

詩部門1名 短歌部門1名 俳句部門1名 以上3名

2位 山口県立西京高等学校

散文部門1名 文芸誌部門1名 以上2名

上記2校5名（各部門1名）は平成23年開催予定の「第35回全国高等学校総合文化祭（福島大会）」
に山口県高文連文芸専門部より推薦

部門別個人表彰

小説部門	最優秀賞「名前売りの青年は」	山口県立西京高等学校	右田 美香
	最優秀賞「500円の恋」	山口県立田布施工業高等学校	小川 直道
	入 選「あなたに告げること」	山口県立徳山高等学校	本田 あい
	「シアワセはフコウ」	山口県立下松高等学校	田中ひかり
	「戦国争乱」	山口県立田布施工業高等学校	木村 友哉

詩 部 門	最優秀賞「ごみ箱」	山口県立柳井商工高等学校	河内 夏海
	入 選「チェックメイト」	山口県立柳井商工高等学校	田中 唯
	「肩車」	山口県立防府西高等学校	伊藤 桃香
	「欲望」	山口県立西京高等学校	清水 美沙
	「カラフル」	山口県立西京高等学校	藤村 祥帆

短歌部門	最優秀賞「無題」	山口県立柳井商工高等学校	野村美智世
	入 選「無題」	山口県立柳井商工高等学校	黒田 彩美
	入 選「無題」	山口県立華陵高等学校	小倉 美緒

俳句部門	最優秀賞「無題」	山口県立柳井商工高等学校	松村 美那
	入 選「無題」	山口県立柳井商工高等学校	コックス・ジャスティン

第34回全国高等学校総合文化祭

～とき放て創造の力 熱き太陽の光と共に～

全国高総文祭(宮崎大会)参加推薦校一覧

部 門	高等学校	参 加 生徒数	出 点 品 数	備 考
パ レ ー ド	慶 進	15		(2校合同出演)パトントワリングにも出演
	誠 英	11		
演 劇				
合 唱	県 立 山 口	27		
吹 奏 楽	山 口 県 鴻 城	64		
器 楽 管 弦 楽	県 立 柳 井	30		演目 シンプルシンフォニーより
日 本 音 楽	県 立 大 津	8		演目 箏曲 海によせて
マーチングバンド・パ トントワリング	慶 進	14		
	誠 英	11		
美 術 ・ 工 芸	県 立 山 口	1	1	絵 画 「つたない」 勢一 美紀
	県 立 下 関 南	1	1	絵 画 「暗黒神話」 清木あかり
	県 立 下 関 中 等 教 育	1	1	絵 画 「語り手」 植田 春菜
	下 関 商 業	1	1	絵 画 「歓迎」 内野 希紀
	県 立 岩 国	1	1	絵 画 「雨の足跡」 村川結理香
	県 立 下 松	1	1	立 体 「INVISIBLE」 会沢友理恵
書 道	県立宇部工業	1	1	漢 字 「臨 九成宮醴泉銘」 金重 悠利
	県 立 下 関 西	1	1	漢 字 「臨 魏霊蔵造像記」 亥川 知夏
	県 立 下 関 南	1	1	漢 字 「臨 祭姪稿」 植村 奈緒
	中 村 女 子	1	1	漢 字 「臨 伊都内親王願文」 有富 雪菜
写 真	県立岩国工業	1	1	単写真 「棚田」 小迫美由紀
	県立下松工業	1	1	単写真 「ノックアウト」 藤井大河
	県立南陽工業	1	1	単写真 「川面にたたずむ」 中川達貴
	県 立 新 南 陽	2	1	単写真 「お疲れ様」 河村梨奈
	県立宇部工業	1	1	単写真 「乱舞」 澄川竜也
放 送	県 立 岩 国	3	1	ビデオメッセージ 「祖生の柱松」
	県 立 熊 毛 南	3		朗読 高瀬 友 アナウンス 榊原穂香 淡路歩惟
	県立山口農業	1		朗読 草刈 俊
	県 立 徳 山	2	1	アナウンス 長藤由貴子 オーディオピクチャー 「100年分の贈りもの」
	県 立 宇 部	1		アナウンス 嶋野寛章
囲 碁	野 田 学 園	1		団体戦(男女混合)中島 剛
	県 立 下 関 西	(1)		団体戦(男女混合)河西 勇
	県 立 高 森	1		団体戦(男女混合)窄口真実
	県 立 山 口	1		個人戦(男子)杉山純一
	県立徳山商工	1		個人戦(女子)橋岡ちひろ
将 棋	県 立 下 関 西	3		団体戦(男子)河西 勇 木村昭太郎 植村卓也
	県 立 防 府	5		団体戦(女子)高橋亜弥 足立光子 横山小百合 個人戦(女子)中村綾乃 弟子丸優希
	県 立 徳 山	1		個人戦(男子)三吉裕太
文 芸	県 立 防 府	1		詩 神山静佳
	県 立 萩	2		散文 黒田莉々 文芸部誌 三井康嘉
総 合 開 会 式	県 立 光	1		水野 聖
合 計				参加生徒数198名

総合開会式

会場：宮崎市民文化ホール

全国高等学校総合文化祭開会式に参加して

山口県立光高等学校 水野 聖

宮崎県へ旅立つ前は、少し不安もあったけれど、本当に楽しみで楽しみで仕方ありませんでした。

「宮崎県ってどんな所だろう。」

「総合文化祭で、一体どんな演出を見ることができるのだろう。」

など、いろいろと想像を膨らませながら、宮崎県へ向かいました。

そしてついに宮崎県に降り立ったとき、そこには、山口県とはまた違った風景が並んでいて、ついキョロキョロと辺りを見渡していました。

「とうとう宮崎県に来たんだ。」

と、改めて実感したのを、今でも覚えています。

宮崎県に着いて二日目。いよいよ全国高等学校総合文化祭の開会式の日がやってきました。会場に着くまでは、緊張して不安ばかりだったけれど、ホールに入って他県の人たちと仲良くなり、話をするうちに、だんだんと楽しくなり、

「早くステージに上がりたい。」

と、思えるようになりました。

そしていざ、ステージに上がってみると、予想以上に人が多くいることに、とても驚いて、一気に不安がおしよせてきました。

しかも、他県の人たちは堂々と県のアピールをしていて、

「あんな風に、いやあれ以上に頑張らないといけない。」

と思い、マイクの前に立ちました。自分が話しているときのことは、緊張しすぎてよく覚えていないのが本

音です。でも、多くの人の前で話すということに、「楽しさ」や「達成感」を感じたのは確かです。一言話し終わって、席に戻ったときの大きな達成感は、今までに感じたことが無いぐらいのものでした。

出番が終わった後は緊張も無くなり、目の前で、東国原知事や秋篠宮殿下がお話されているのを見ることができて感動し、同じ高校生が創りあげた、様々な演出をととても楽しんで見ることができました。

特に、宮崎県の高校生が演じていた劇は、この日のためにたくさん時間をかけて準備してきたんだろうなと思うと、本当に感動しました。あの劇の一つひとつのシーンは、今でもはっきりと思い出すことができます。素晴らしい演出で私たちを迎えてくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

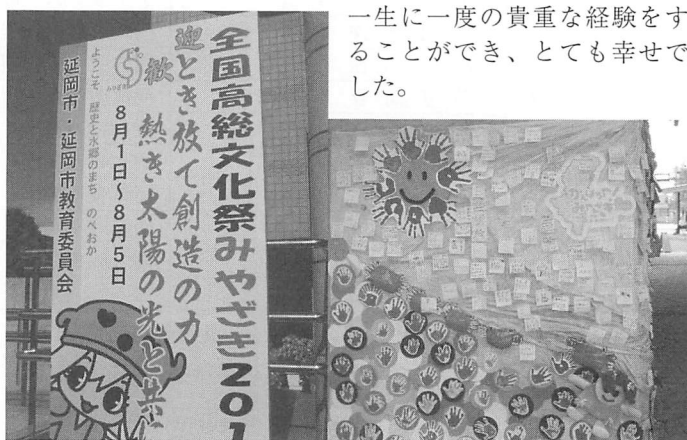
そのほかにも、モンゴルやアメリカ、中国韓国など日本以外の文化も実際に目で見ることができ、

「ここに来て良かったなあ。」

と感じることができました。

宮崎県での滞在期間はとても短かったけど、全国高等学校総合文化祭という大きな大会に出させてもらい、本当に良い経験になりました。

一生に一度の貴重な経験をすることができ、とても幸せでした。



器楽・管弦楽部門

会場：宮崎市民文化ホール

山口県立柳井高等学校弦楽部

2年 藤澤 彩加

私たち山口県立柳井高等学校弦楽部は、8月4日に行われた第34回全国高等学校総合文化祭宮崎大会に参加しました。この全国という舞台は私たちにとって初めての経験だったので、皆が悔いの残らぬように試行錯誤を繰り返し、最高の演奏を目指して努力をしてきました。

私たちが演奏したブリテン「シンプルシンフォニー」とシベリウス「アンダンテ・フェスティーボ」は、この大会の1年前から練習をはじめ、今ではとても思い出深いものとなりました。本番では、私たちが山口県代表であるということにプレッシャーを感じとても緊張しましたが、一年間共に頑張ってきたメンバーがいるという気持ちに、とても安心しました。そして終わった後は今までの苦労を思い出し、達成感と嬉しさでいっぱいになりました。

今思い返してみると、部活動自体が崩れそうになることもありました。特に練習量の多い夏場は私たちを苦しめました。何度も何度も注意され、思い描く演奏に近づけず、部員も先生もぶつかり合うことがありました。それでもここ

まで頑張ることが出来たのは、このメンバーが一緒だったからだと思います。このメンバーだったからこそ、皆で支えあい、励ましあって頑張ることができたのだと確信しています。宮本先生、尾本先生、佐々木先生のご指導のもと、弦楽部一同でこの大舞台で演奏ができた事を誇りに思います。

また、他校の演奏を通して、学んだことも多々ありました。全国各地の高校生が集結した大会、やはりどの高校もレベルが高く、自分たちの演奏に取り入れていかなければいけない点をたくさん見つけることができました。

この大会を通して、たくさんの貴重な体験をさせていただきありがとうございました。私たちは、かけがえのないたくさんの思い出と、これからの弦楽部に生かしていかなければいけない課題を得ることができました。これからも、この経験を活かし一層努力をしていきたいと思っています。最後に今回、私たち弦楽部を支えてくださったすべての方たちに部員一同、心から感謝いたします。



合唱部門

会場：メディキット県民文化センター

山口県立山口高等学校

2年 松永 一真

今回、山口県代表として、宮崎県で開かれた全国高等学校総合文化祭に参加できたことを、心から嬉しく思っております。山口高校合唱部として、宮崎の地に「長州のハーモニー」を響かせ、会場にいる皆様とともに音楽を楽しむことができ、大変貴重な体験をさせていただきました。

私たちが歌ったのは、森山至貴作曲「たべものうた？」より「桃」、「長月のうた」の2曲です。

「桃」はアカペラの曲で、全パートによる掛け合いから始まり、不思議な和音を保ったまま進行していきます。桃の淡いピンク色や独特の形を思い起こさせるような印象的な曲です。

「長月のうた」は「桃」とはうってかわって、ジャズ風の伴奏から始まります。全体を通してリズムカルで、聴いている人も巻き込んで独特の世界に連れ込んでいってしまうような曲です。

今年度はこの2曲を中心に、ハーモニーの構成から、音楽的な構造に至るまで、一から勉強しておりました。今回の体験を通して、音楽の面白さを再認識することができたと思っています。

先輩方が卒部し、私たちが部活の中心になりましたが、今回の活動で得た「よりよい音楽を作るという探求の気持ち」を忘れないでいたいと思います。音楽の探究にfineはありません。これからも日々練習に取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、今回の参加に際し、お世話になった、すべての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



吹奏楽部門

会場：延岡総合文化センター

山口県鴻城高等学校 吹奏楽部

顧問 内田 良一

私達は全国高等学校総合文化祭みやざきに山口県代表として出演させていただきました。

昨年、私達の高校が推薦され大変光栄なことで嬉しく思っていた反面、山口県を背負って大舞台に立つというプレッシャーを大きく感じていました。生徒達も同じように感じていたが、大舞台に立てる楽しみの方が多かったように感じました。私顧問としては、生徒達が楽しむという事を前面に考え練習に取り組んできました。

宮崎は、口蹄疫の問題もありましたが、無事開催できました。当日、大変天気も良く環境の整った会場でした。リハーサル会場では役員会

場を手伝う地元の生徒達が笑顔で迎えていただき、充実した練習ができました。本番当日は大変生徒達は緊張していましたが、「とにかく楽しもう」という気持ちでステージに立ちました。

この文化祭で、生徒達は大きく成長することが出来ました。毎日この目標に向かって頑張ってきましたが、時にはプレッシャーに負けそうになる事がありましたが、互いに助け合い協力し合いながら取り組んできました。また、山口県代表という立場になり多くの方に感謝する気持ちになれたからだと思います。この舞台は私達、山口県鴻城高等学校吹奏楽部にとってかけがえのないものを得られたと思います。出場にあたり、多くの関係者の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：都城市早水公園体育文化センター

慶進高等学校 バトン部

2年 益村 舞央

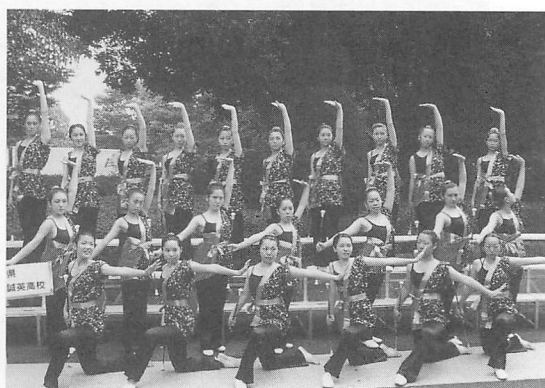
私は、全国高等学校総合文化祭にチームキャプテンとして出場した中で多くのことを学びましたが、その中で私は信じることの大切さを改めて実感しました。

大会に向けての練習時に、私の自己嫌悪が激しく何をしてもだめだった時、いつも支えてくれる仲間をはじめ、友人や家族、そして相談に乗ってくださる顧問の先生がいてくれたおかげで、他人を信じることはもちろん、自分を信じてあげることも演技の中で大切なことなんだと、この大会を通してたくさんの人から教えてもらいました。

しかし、今思うと私みたいな頼りないキャプテンによくついてきてくれたなと思います。きっと支えてくれたみんなも不安でいっぱいだったろうし、この大会で何かを得たのは私だけではなく、みんなも同じくらい大切なことを学べたのではないのでしょうか。

居て当たり前だと思っていた仲間が、こんなにも心強い存在だったことに気付かせてくれた大会に出場でき、本当に良かったと思っています。

これから、またたくさんのことが起きると思いますが、この大会で学んだ、他人を信じ自分を信じることを忘れず、仲間と成長していきたいです。



日本音楽部門

会場：都城市総合文化ホール

山口県立大津高等学校

箏曲部3年

私たちは、八月三日(火)～四日(水)の二日間、宮崎県都城市総合文化ホールで行われた日本音楽部門に参加しました。

八月二日に学校を出発し、半日以上かけてバスで宮崎まで行きました。会場は思った以上に広く、綺麗なところで、演奏が十分出来るような設備も整っていました。そして私たちは少し緊張しながら、他県の高校生のリハーサル演奏を聴きました。リハーサルとはいえ、音の強弱や手の挙げ方など、とても力強く迫力がありました。それからホテルに戻り、皆それぞれの思いをもって大会を迎えました。

私たちの出番は大会初日の三番目で、一箏、二箏、十七弦からなる「海によせて」を演奏しました。部員全員が不安を感じていましたが、全員で一生懸命に演奏し、終わったあとは達成感でいっぱいでした。

大会二日目は他校の演奏を聴き、箏や三味線が奏でる音色に聞き入っていました。今大会は、

自分たちの演奏を他県の高校生に聴いてもらうだけでなく、他校の演奏を聴き、自分たちになにものにも気づく良い機会でもありました。どの高校の演奏も美しく楽器の良さが十分に出ていて、改めて日本音楽の素晴らしさを実感しました。

私たちは、全国大会で演奏する曲を選んで練習を始めてから、どうすれば少ない部員で美しく迫力のある曲を演奏できるだろうかと考えてきました。演奏方法で部員同士の意見が違い、思うように弾けなかったこともありましたが、そんな苦労もあり、部員全員で悩んだからこそ、先輩後輩が関係なく一致団結することができたのだと思います。私たちにとって全国大会は、仲間とのつながりを強める大会でもあり、高校生活の良い思い出の一つとなりました。のちに入部してくる新しい部員に、今大会の経験を語り継いでいき、もっと良い部活になることを願っています。そして私たち箏曲部を支え、アドバイスをしてくださった方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。



美術・工芸部門

会場：都城市総合文化ホール

理事長 宮崎 龍次
(下関商業高等学校教諭)

今回全国総文祭に出品された生徒のみなさんより感想文をいただいています。

『雨の足跡』

山口県立岩国高等学校
3年 村川結理香

全国から集まった作品は、どれもレベルが高く、とても感銘を受けました。色々な作品を観ることで、自分を取り組んだことのないような描き方や表現の仕方、そして作者が持つ創造力などを学ぶことができました。この経験を活かして、これからの自分の作品作りに励んでいきたいと思っています。



『INVISIBLE』

山口県立下松高等学校
3年 会沢 友理恵

全国から選び抜かれただけあって、内容が充実していました。立体も多く、自分の作品を客観的に見ることができ良い機会でした。いろいろな作品に触れることで、これからの制作に活かすことができると思います。



『つたない』

山口県立山口高等学校通信制
勢一 美紀

このたびの全国高等学校総合文化祭に参加して、多くの同年代の方々の作品を見ることができ、また会話を通じて交流できたことをとても嬉しく思いました。絵画を通じて人と交流し、自分の技術も磨くことができた、この貴重な体験は、これから先、ずっと忘れることは無い良い思い出となりました。



『暗黒世界』

山口県立下関南高等学校
2年 清木 あかり

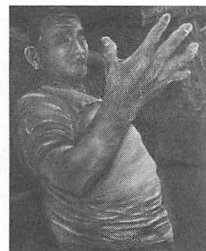
幼さと拙さが残りながらも数々の方の支持を受けた事を、とてもありがたいと思います。私は周囲の人に「変わっている」と言われますが、変わっているからこそ描く事が出来た作品だと考えます。これからも私だけの独特な世界観を持ち続け、私しか描けない作品を描いていきたいと思っています。ありがとうございました。



『語り手』

山口県立下関中等教育学校
6年 植田 春菜

山口県代表として行った宮崎大会で、私は他県の全国レベルの作品に圧倒されるばかりでした。今回の大会への参加は、次の目標を立てるきっかけとなり、良い経験となりました。祖父への贈り物として大切に描き上げた「語り手」は、私の一生の思い出です。きっと祖父も天国で喜んでくれているだろうと思います。



『歓迎』

下関商業高等学校
3年 内野希紀

宮崎大会では、他県の方の素晴らしい作品をたくさん目にする事ができました。その事で自分の作品の甘い部分を見つけることができる、とても良い経験になりました。この「歓迎」は楽しそうな友人を描いたものなので、誰かが少しでも明るい気持ちになれたら幸いです。



書道部門

会場：宮崎市総合体育館

理事長 梶山 美智子
(長府高等学校教諭)

全国展に出品した4校の生徒のみなさんに、それぞれ感想をいただいていますので、ご紹介します。

山口県立宇部工業高等学校

二年 金重 悠利

『臨 九成宮醴泉銘』

今年度全国総合文化祭に出品させていただきましたが、一番の感想は自分の作品のレベルの低さです。他の各地の代表作品を見てみましたが、特に、線の綺麗さや作品としての完成度の違いがとても目につきました。また、斬新なものやユニークなものささまざまな作品を見させてもらったおかげで書道の見識の幅を広げることができました。これらを参考にこれからの活動に活かしていきたいと思います。

山口県立下関西高等学校

三年 玄川 知夏

『臨 魏霊蔵造像記』

宮崎県で開催された全国高等学校総合文化祭の書道部門に参加することができ、全国から選ばれた多くの作品に接して感じるものがたくさんありました。

まず、従来の書の形式にこだわらず、あらゆる創意工夫をこらした作品が多くて驚いたこと。細部にわたりいろいろなアイデアが施してあって、つい見入ってしまいました。また、どの作品も、ものすごく書き込んであるのがわかり、自分の努力はまだだと実感しました。自分の中で『これだけ努力したんだから』と限界を作るのではなく、どこまでも努力するべきだと教えられました。

今回の全国大会の経験で学んだことを大切に、今後の人生に生かしていこうと思います。

山口県立下関南高等学校

植村 奈緒

『臨 祭姪稿』

私が臨書した祭姪文稿は、流暢な中にも粘り強い筆力が込められている作品だったためそれを表現するのがとても難しく、筆や紙を変えたりして試行錯誤しながら何枚も書きました。全総文では私以外に三人が祭姪文稿を臨書していました。迫力があり、かすれなど繊細なところまで気持ちが入っていてどの作品も本当に素晴らしかったです。また、全国のたくさんの作品からいろいろなものを感じて、北海道から沖縄まで飽きることなく何度も何度も見続けました。私は自分が持っている力を精一杯出して書いたつもりでしたが、全国展のレベルには全然達しておらず、とても恥ずかしく悔しかったです。力の無さを実感しました。そして、他県の人と仲良くなり、俳句交流や、勾玉作りをした交流会はとても楽しくてよい思い出となりました。

これからは、この全総文で感じたことを忘れずに、たくさん練習して上達できるよう努力していこうと思います。

中村女子高等学校

三年 有富 雪菜

『臨 伊都内親王願文』

宮崎での全国大会は私にとってかけがえのない思い出になりました。会場の宮崎市総合体育館には、これまでに見たことのない大きな作品や多数の作品がたくさん展示され、とても同じ高校生が書いたものとは思えないような力強い作品もありました。会場はそのような全国の高校生の熱気に満ちていました。生徒の交流会では他県の高校生と一緒に短冊を書いたり勾玉のアクセサリを作ったりと楽しいひとときも過ごしました。この思い出を糧にして将来の夢に向かって進んでいきたいと思っています。

写真部門

会場：宮崎市民プラザ

山口県立新南陽高等学校

写真部 2年 河村 梨奈

写真部に入部した1年生の秋、顧問の先生のご協力のもとに選んだ写真が全国大会へ行くことになり、私はとても驚きました。そして、山口県の代表になったことを嬉しく思い、全国大会でいろいろなことを学んできたいと思いました。

全国大会に参加するために宮崎入りしたその日に、展示会場である宮崎市民プラザで作品を鑑賞しました。全国から集まった作品は、力強さ・美しさが作品の中にしっかりと表現されていて、レベルの高さを感じました。写真の構図・被写体などは、どの作品も参考になり、強く印象に残った作品も数多くあります。

翌日の撮影会が青島こどもの国で行われました。多くの人たちが海岸で海水浴を楽しんでいましたが撮影会が始まって最初の頃は、カメラを向けられず、なかなか写真が撮れずにいましたが、途中からは顧問の先生にも助言を頂いて、積極的に撮影できるようになれたと思います。

撮影会の翌日には現像されたフィルムから提出作品を選びましたが、自分なりに良い写真が撮れたのではないかと思います。

最終日は、撮影会の全提出作品の中から、審査員の先生により優秀作品として絞られたものを、さらに生徒が投票することで、3点の作品が選ばれました。審査員の先生2人からも奨励賞が1点選ばれました。選ばれた作品はどれも様々な工夫がなされていて、日頃の撮影であまり工夫を考えたことのない私にとって、とても参考になりました。顧問の先生と作品について話をしていくうちに、さらに全国のレベルの高さを実感することができました。

最後になりますが、今回この全国高等学校総合文化祭に参加し、たくさんの貴重な体験ができた本当に良かったと思います。今後の作品作りに活かして行きたいと思います。顧問の先生方また、関係者のみなさん、本当にありがとうございました。



囲碁部門

会場：日向市文化交流センター

山口県立下関西高等学校

3年 河西 勇

8月4日(水)・5日(木)に宮崎県日向市の文化交流センターで開催された第34回全国高等学校総合文化祭の囲碁部門団体戦に山口県チームの一員として、野田学園高校の中島くん(3年)・高森高校の窄口さん(3年)とともに出場しました。この大会は先輩方が二連覇していますので、なんとか三連覇したいという強い気持ちで臨みました。一回戦は問題なく勝てたのですが、二回戦で優勝候補の兵庫県と対局し三人とも負けてしまいました。ただ、まだ優勝の可能性は残っていたので、「気持ちを切らさないように」とお互いに励ましあい次の対局に臨みました。そのおかげもあってか、三回戦・四回戦は無事に勝つことができ、3勝1敗で初日の日程を終了しました。二日目の朝、「あと二つ勝てば入賞は間違いのないぞ!」と皆で気合い

を入れて会場入りしました。そして五回戦目の相手が宮崎県だと分かったと正直、「勝ったな」と思いました。しかし、油断もあったのか宮崎県に負けてしまいました。二敗してしまった時点で入賞の可能性すらなくなります。三人とも落ち込み、口数も少なくなりましたが、「ラスト1つ。後悔のないように自分の碁を打って高校最後のこの大会を楽しもう!」と皆で決めて、六回戦目の鳥根県との対局に臨みました。結果は鳥根県に勝利し、山口県チームとして4勝2敗で全国12位の成績でこの大会を終えました。

私は、この大会の十日ほど前に東京で行われた全国高校囲碁選手権大会の個人戦にも出場しましたが、自分の納得できる対局ができないまま終わってしまいました。しかし、この大会では仲間の支えもあり、私個人としては5勝1敗という好成績で高校最後の大会に幕を下ろすことができました。



放送部門

会場：清武町文化会館 J Aカルチャーセンター

理事長 小倉 誠 司
(岩国高等学校教諭)

放送部門は8月4日(水) 5日(木) 宮崎市の清武町文化会館でアナウンス部門。朗読部門が、J Aカルチャーセンターでオーディオピクチャー部門・ビデオメッセージ部門が開催されました。

宮崎県は口蹄疫の流行で大変な被害を被り、大会運営にも相当なご苦労があったようですが、そのような中で、青いポロシャツ姿の大会運営スタッフ(地元宮崎県の放送部員)が一生懸命頑張っている姿がとても印象的でした。

大会初日の8月4日は、午後からオーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門、アナウンス部門の発表を行いました。

今年度のテーマは「郷土」で、オーディオピクチャー部門では徳山高等学校が100歳を迎えた周南市出身の詩人まど・みちおさん取材した「100年分の贈りもの」を、ビデオメッセージ部門では岩国高等学校が岩国市周東町に270年間伝わる火祭り取材した「祖生の柱松」の発表を行いました。

アナウンス部門には熊本南高等学校の榊原穂香さん、宇部高等学校の嶋野寛章君、徳山高等学校の長藤由貴子さんの3名が出場しました。

榊原さんは平生町のムードメーカー的なお店であるひらお特産品センターを紹介した「平生町民元気の源」を、嶋野君は宇部市にあるおもちゃ病院取材した「おもちゃ病院」を、長藤さんは周南市で砂糖細工に取り組む吉村亜紀さん取材した「シュガークラフト」を発表しました。嶋野君は昨年の三重総文に続いて2度目の出場です。

2日目の8月2日は朗読部門の発表が行われ、熊本南高等学校の淡路歩惟さん、高瀬友さん、山口農業高等学校の草刈俊君の3名が出場しました。

朗読部門は「郷土にゆかりのある作家または作品の中から」選んで朗読するのですが、淡路さん山口高校出身の重松清作「くちぶえ番長」を、高瀬さんは重松清作「ナイフ」を、草刈君は防府市の野島を舞台のモデルにした伊集院静作「機関車先生」を発表しました。

結果は残念ながらどの部門も入賞できませんでしたが、他県の発表を聞くだけでなく積極的に他県の放送部員と交流し、たくさんの事を吸収して帰ることができました。



(福島県選手団と一緒に)

将棋部門

会場：ホテルシーズン日南

理事長 岡 茂 樹
(防府高等学校教諭)

全国高等学校総合文化祭将棋部門が、8月1～3日に、宮崎県日南市で開催されました。日南海岸で鬼の洗濯岩に健闘を誓い、青島神社で必勝祈願、2両編成の列車が走る油津駅に降り立ちました。映画「男はつらいよ」のロケも行われた風情のある運河を渡って、闘志を秘めて対局に臨みました。

予選はスイス式の4回戦。3勝1敗で決勝トーナメント進出です。男子代表が苦戦する中、女子団体防府高校は前評判通りの実力を発揮し3勝1敗で予選通過。決勝トーナメントに進出しました。消耗戦の1回戦を制し波に乗ったかに見えましたが、準々決勝で敗退し今年は5位。実力充分のチームで全国制覇の期待がかかっていましたが、全国の壁は想像以上に厚いものでした。しかし、2年連続で上位入賞した防府高校の高橋さん、横山さんの活躍は見事でした。

＜男子団体＞ 下関西高等学校
(植村卓也・河西勇・木村昭太郎)
一回戦 宮崎北高校 (宮崎県) 勝 (3勝0敗)
二回戦 松山東高校 (愛媛県) 負 (0勝3敗)
三回戦 益田高校 (島根県) 負 (1勝2敗)
四回戦 昭和薬付高校 (沖縄県) 負 (1勝2敗)
1勝3敗 予選敗退



＜女子団体＞ 防府高等学校
横山小百合・高橋亜弥・足立光子
一回戦 境港総技高校 (鳥取県) 勝 (3勝0敗)
二回戦 岩村田高校 (長野県) 負 (1勝2敗)
三回戦 柏崎翔洋高校 (新潟県) 勝 (3勝0敗)
四回戦 杵築高校 (大分県) 勝 (3勝0敗)
3勝1敗 予選通過
1回戦 追手前高校 (高知県) 勝 (3勝0敗)
準々決勝 南山高校 (愛知県) 負 (0勝3敗)
第五位 (ベスト8)

＜男子個人＞ 三吉裕太 (徳山高校)
一回戦 宮嶋一輝 (各務原高) …負
二回戦 白川祐基 (昌平高) …負
三回戦 我喜屋可成 (北陸学園北陸高) …負
四回戦 渡辺誠 (金沢総合高) …負
0勝4敗 予選敗退

＜女子個人＞ 中村彩乃 (防府高校)
一回戦 伊藤美香 (佐渡高) …勝
二回戦 釣井亜衣 (八幡浜高) …勝
三回戦 鳴滝侑子 (公文国際学園高) …負
四回戦 福原穂波 (済美高) …勝
3勝1敗 予選通過
1回戦 柳下美優紀 (北斗八戸中央高) …負
ベスト32

＜女子個人＞ 弟子丸優希 (防府高校)
一回戦 上山奈津希 (宮崎南高) …勝
二回戦 小野ゆかり (実践学園高) …負
三回戦 木谷絵里奈 (横浜山手高) …勝
四回戦 横山さや香 (札幌南高) …負
2勝2敗 予選敗退



文芸部門

文芸部門参加レポート

山口県立萩高等学校文芸部

1 大会日程

8/2(月) 開会式・全体交流会(詩のボクシング)・部門別交流会

8/3(火) 文学散策・分科会

8/4(水) 報告会・記念講演会・閉会式

2 主会場 野口記念館

3 部門別交流会・分科会の概要と感想

《散文部門》黒田莉々

交流会ではグループに分かれて出身地、名前、学校の特色、宮崎の印象、好きな作家などの自己紹介を行った。その後心理テストや宮崎に関するクイズで交流を深め、リレー小説を執筆した。実行委員の方が設定したテーマに沿って、どの班も個性的で面白い作品に仕上がっていた。

分科会では、参加者の作品について批評を行った。活発な議論を行うことができ、充実した内容になった。そして各グループで出た意見を全体で合評し、作品を読んで気になった点の質疑応答を行った。全体合評会の全班・後半の最後には講師の高山先生から、自分の中における他者性の獲得、形容詞の使い方などのお話をいただいた。その後、先生のお選びになった特に優秀な3作品に賞状が授与された。

《文芸部誌部門》中村あかね

交流会では、グループ内で学校名、名前、趣味や特技、足のサイズを交えて自己紹介をした。その後、クイズとゲームで交流を深めた。翌日の文芸散歩の後、分科会があり、講師の川口敦己先生から文芸誌を評価するポイントについてのお話を頂いた。それから、班毎に6冊ずつ文芸誌を読んで2冊を選び、更に全体で優秀な文芸誌を3冊選んだ。最後に川口先生から講評を頂いた。文芸誌を作る上で重視する点についてのお話が主で、どれも大変興味深かったが、その中でも特に「奥付まできちんと作って、完成した文芸誌は是非とも国立国会図書館に送ってほしい」という言葉が、一番心に残った。全国の高校生との交流を通して、様々な経験が出来た。

山口県立防府高等学校文芸部

2年 神山 静佳

今回の全国高校総合文化祭で宮崎に行く、と聞いてまず考えた事は「真夏に南下って絶対暑いだろうな」でした。今更ながらその時は暢気なものだったと思います。おそらく、自分が総合文化祭に行くということに驚き、実感がわいていなかったのも手伝ってのことでしょう。だんだんと日は迫り、少しずつ予定が決まっていくと今度は意識

しすぎて緊張と不安が高まっていきました。全国の高校生が集まるような場にいけないということはあることではないし、出来るだけ多くのことを吸収して来たいと思う反面、どのように彼らに接すればいいのか、交流の場で上手くコミュニケーションを取ることが出来るかといった不安が日に日に大きくなっていきました。そんな悶々とした気持ちを抱えたままやってきた当日、出発の時。普段はあまり部活のこと以外ゆっくり話す時間のない顧問の先生との移動時間は楽しく、自分の不安を一時忘れられましたが、いざ現地に着くと忘れていた分が倍になって戻ってきたようで。今から何が起るのかと言いたくなるような暗い表情で会場へ向かう私を、先生は優しく励ましてくださいました。

そのおかげもあってか、逃走することもなく無事に分科会の会場へ辿り着きました。初日の交流会等に参加して居なかったため、班別の活動と聞いて顔がひきったような覚えがあります。今顔を合わせたばかりの方々と話し合うなんてコミュニケーション能力が著しく低い自分には無理、といった思いから来るものでしたが、人間やれば何とかかなるようだ、と思ったのも事実。あの緊張でガチガチの支離滅裂な言葉をきちんと拾い上げてくださった同じ班の方々には深く感謝しています。また、この分科会での話し合いで気付いたこととして、自分の作品を目の前で評価されるのは想像以上に恥ずかしいことでした。問題点が見つかるのももちろんですが、良い点を挙げられるのがさらに恥ずかしいと感じる理由は、未だによくわかっていません。けれども、第三者から見た自分の作品への意見を聞ける機会は普段あまりないので、これも貴重な経験の一つになったのではないかと思います。その後の講演会では詩を書く時に気を付けることなどを聞き、慣れないながらも必死にメモをとっていました。後々、自分の書いたはずの字が一部解読不能になっていたのはさておき、今まで「感覚」だけで詩を書いていた自分にとって非常に勉強になりました。問題はこの度学んだことをどれだけ活かせるかですが、それは講演会でのお話を思い出しながら、メモとにらめっこしながら、回数を重ねていくつもりです。そもそも、総合文化祭に出場することが決まった作品が、自分が「詩」として書いた初めての詩。まだまだ書き込んでいかなければ、と実感しました。

総合文化祭で学んだことは多いですが、それを活かせるかどうかは自分次第です。まだ上手く整理出来ていないため不十分ですが、一緒に行けなかった部活の仲間にも今回学んだことを順に少しずつでいいので伝えていけたら、と思います。

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度（62～63は昭和、1～22は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器・ トランペット	尺八と琴・ オベレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 みんな de リズム	ソプラノ 電子オルガン	リコーダー・ ヴァイオリンと チェロ
1	周防大島	63					7	3,4,10	10,21			
2	岩国									1		
3	岩国総合							11		1		
4	坂上			63	11			5	3			
5	広瀬		14	63				17	20		21	
6	高森							2				
7	岩国商業			3					62,15			
8	岩国工業							2	6,8			
9	柳井							7	11			
10	柳井商工							11,14	1,4,11,14			
11	熊毛南	63						6,17	12			19(分)
12	田布施農業						15(分)	3,18	5			18(分)
13	田布施工業							20	16			
14	光	63						8 ※	17	定20		
15	光丘							8,11	14			
16	下松	63				12	7	15				
17	華陵	63						8	1			
18	下松工業							1				
19	熊毛北							2,14	63,7			
20	徳山		4(定)			10(定)	8(定)	15	12			
21	徳山北		63					4,11	8		21	
22	鹿野		3			10		9	1,16			
23	新南陽	63						22	5,14			
24	徳山商工		5	63					3,4,7	1		
25	南陽工業		1					62				
26	防府											
27	防府西							10		1		
28	防府商業		63(定)					12	6	1		
29	佐波			63		7						
30	山口		62(定),16(定)			15(定)		2				
31	山口中央	63	12			10	13					
32	西京	62						4	7			
33	山口農業							5,21	3			
34	宇部	63										
35	宇部中央		1(定)				14(定)	10,19	63			
36	宇部西							14	10,※			
37	宇部商業			63				62,6	3			
38	宇部工業		13	2				8				
39	小野田		63(定)	19(定)					22			
40	厚狭			1				15,21	9,18			
41	小野田工業		63(定)						4			
42	美祿	62				9		4	2		18	
43	青嶺							63	10			22
44	田部							1,13	18,20			
45	西市							63	22			

ピアノ……………弘中 孝

マリンバ……………水野与旨久

フルート……………西田直孝トリオ

胡弓……………姜建華・楊宝元

トランペット……………田宮堅二

尺八と琴……………中村明一、八木美知依

オベレッタ……………本月京子、ひとりオペラ

交響楽団……………山口県交響楽団

演劇……………劇団のんた、宇部芸術座、劇団海峡座

金管合奏……………東京金管五重奏団

打楽器……………韓国の太鼓と踊り

デュオコンサート……………三輪 郁、菅沼ゆづき

ソプラノ……………鶴木絵里

リコーダー・リュート……………吉沢実、永田平八

電子オルガン……………神田 将

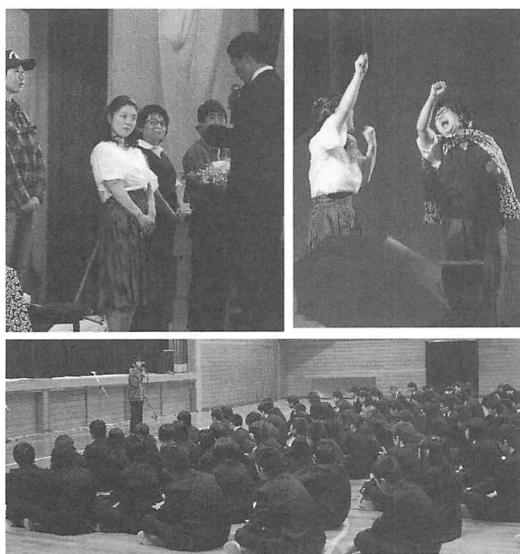
みんな de リズム……………フランス・シルヴァ

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度（62～63は昭和、1～22は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器 トランペット	尺八と琴・ オペレッタ	交響楽団	演 劇	金管合奏 みんな del'ism	ソプラノ 電子オルガン	リコーダー・ ヴァイオリンと チェロ
46	豊 浦											
47	長 府								1	1		
48	下 関 西											
49	下 関 南											22
50	響		5		15		1					
51	豊 北	62					3	15,22				
52	下関中央工業						12	6				
53	下 関 工 業	62						2				
54	大 津	63					12	5				
55	日 置 農 業	63	5			9	19	2,13,※				
56	水 産						12					
57	萩	63					3	6				
58	萩 商 工	63					6,7,16	2,4,9,12,17,※				
59	徳 佐			63(分)			63,10,20	13				
60	奈 古		17(分)		11		1,9					
61	下関中等教育							5				
62	岩国総合支援		3,13		16			10,19				
63	田布施総合支援		6	17			62					
64	周南総合支援		15,※	17							20	
65	徳山総合支援		11	1								
66	防府総合支援	62	3	63	12		16					
67	山口南総合支援											
68	山口総合支援			19			14					
69	宇部総合支援		63,5,14				1,9	18				
70	下関南総合支援	63	3		16	8,10	7	1				
71	下関総合支援		2,6				16					
72	豊浦総合支援		11,16			13		19,21				※
73	萩 総 合 支 援		6									
74	下 関 商 業				14(定)							
75	高 水							62				
76	柳 井 学 園		6					63				
77	聖 光						2					
78	山口県桜ヶ丘											
79	誠 英							7,9				
80	高 川 学 園											
81	中 村 女 子	63					2,5,22	11,16				
82	野 田 学 園	63					18					
83	山 口 県 鴻 城						10	12,15				
84	宇 部 鴻 城						7	9				
85	慶 進						※					
86	成 進											
87	宇部フロンティア香川						1,5,15	11,19				
88	サ ビ エ ル											
89	早 鞆											
90	下関短期大学付属	62,63	4			7		8				
91	長 門						6					
92	萩 光 塩 学 院											

《自主事業》 【巡回演劇公演】



劇団「のんた」『ザ・シェルター』を観劇して
西市高等学校 2年 豊田 詩帆

シェルターに閉じこめられて・・・という発想もすごかったし、演じる人達の演技の仕方もすごくすてきでとてもおもしろく見させていただきました。演劇は、今までTVを通して何度も見て来ましたが、目の前で見たのは初めてでしたので、演劇のすばらしさを改めて実感することが出来ました。演劇とは、見ている人々を感動させたり、楽しませたりなど、人々の感情を豊かにさせるものだと思うので、今日見た演劇は、まさにそういうものだったと思います。私は、感情を表に出すことがあまり苦手だったのですが、回りの人達のおかげで出せるようになったので今日のような演劇を見て、誰かが元気になる、演劇をしている人達も元気にしていってもらえたらなと思いました。

西市高等学校 3年 工藤 真希

「ザ・シェルター」を観劇して家族の良さがよく分かりました。

コンピューターの故障でシェルターの中に閉じこめられた家族の仲がだんだん良くなっていくというのはすごくおもしろかったです。

なぜ、完璧のはずのコンピューターが故障したのかとか考えたりしながら見るのはとてもおもしろかったです。

この劇を見ていると本当にコンピューターが自分の意思を持って行動しているように思いました。

他に声の響きがすごく良いと思いました。広い体育館でこれほど声がひびくものなのかと思いました。それから表現力がすごくあって、一つ一つの動作ですごく感激しました。とても良い勉強になりました。



宇部芸術座「私は誰・・・」

小野田高等学校 3年 田中 江梨子

私は観劇が好きなので、わくわくしながら見ていました。事前にくばられたプリントを見て、だいたいのストーリーを想像していました。内容的にはありきたりな話でしたが、自分でもびっくりするくらい最初から泣きそうでした。アリーとノアがケンカして別れるシーン、役者さんの演技に熱がはいっていたせいなのか、すでに私は涙目です。でも、周りのみんなは泣いていないし、まだ泣くところじゃないと、こらえるのが大変でした。最後、おじいさんになっても、アリーが忘れてしまっても、ずっとひたすらアリーを真っすぐに愛していたのがとても素敵でした。それと同時に、あんなに若い頃つらい想いをして、やっと結ばれたのに、自分を忘れてしまったアリーのそばにいるのはどんなにつらいだろうと思い、涙をこらえることができませんでした。私は泣くとひどい顔になるので、後で友だちにからかわれるだろうな、と心のすみで思いましたが、だめでした。隣で優しく想い出を語りかけ、最後の結婚記念日の花を届けるころまで、視界がにじんで大変でした。眼鏡がくもります。とても感動しました。ほっこりした気持ちになります。人の心にこんなにも何か伝えることができるのはすごいと思いました。

小野田高等学校 1年 松ヶ下 裕子

認知症という病気は、大事な思い出を忘れていくとても悲しい病気です。介護疲れで心中をしようとした事件が度々ニュースで報じられています。なので、アリーにずっとつきそい続け、辛抱強く本の読み聞かせをするノアがとても印象的でした。優しい物語だったと思います。それに、相手が誰であれ、ノアのように接する

《自主事業》 【巡回演劇公演】

ことができれば、心を通じあわせることができます。わたしは対人が少し苦手です。なかなかうまくできないかもしれないけれど、少しずつ、ノアに見習っていきたいと思います。

物語もとても印象的でしたが、劇団のみなさんの演技も、とても印象的でした。アリーにつきそい続けるノアの心情、ノアとロン、どちらを選ぶことが自分の本当の心持ちなのか分からず悩むアリー、アリーを思う母親など、登場人物の心情が演技にしても表わされていて、すごいと思いました。またいつか、みなさんの演技が見たいです。今日は本当にありがとうございました。



劇団海峡座

豊北高等学校 1年 森脇 百合子

今回、朗読や演劇を鑑賞して、劇団の方の声はとても聞きやすく感じました。それは、ただ声量が多いからという理由だけではなく、体育館に響いていたからだと思います。

これは、今、私が所属している吹奏楽においても言えることかもしれません。吹奏楽でも音量だけではなく、吹いた音が響いたかどうかを意識すれば、聞いている人がとても聞きやすいのではないかと思います。

そして、私は今二年生で、来年には文化祭で劇をすることになりますが、その時にも、自分たちの声や動作が相手にどう聞こえるか、映るかを考えなくてはいいと思います。それだけではなく、朗読や演劇では、観賞する人がいないと成り立ちません。自分たちが楽しむだけではなく、聞いている人、見ている人も楽しめる劇を作りたいと思いました。

豊北高等学校 2年 田中 佐和

演技をするという事の深さや難しさを、私は今回の物語の朗読「ヘレン・ケラー」の講演を観て改めて知りました。初めの朗読は、読み手さんの力強い語りと、タイミングの絶妙な音響で聴いていて物語に引き込まれるようでした。俳句の朗読では、私の地元の神社の名前が出たので驚きました。俳句という短い文章の中で、どうやって俳句に込められている意味を聞き手に伝えるか、それを考えながら読むのは大変だろうなあと思いました。後半は「ヘレン・ケラー」の講演でした。この話は小さい頃から絵本で読んでいたので、内容を観ながら「そんな場面もあったなあ」と、少し懐かしい気持ちで観ていました。そして何より心を惹きつけたのは、役者さんの演技力でした。近くで見るからこそわかる迫力と、台詞のかつぜつの良さと、場面場面でコロコロ変わる動作や表情は、「さすがはプロの劇団だなあ」と改めて思うほど役者さんの演技に対する自信や力強さを感じました。とくに、ヘレンの役の人には本当にすごくて演技にずっと魅入っていました。イスに引っかけた帽子を手さぐりで取ろうとする場面は、本当に目が見えていないかのようにリアルですごいなあと思いました。

本来は私達も三年生になり、文化祭では演劇もする事になります。最後の文化祭をよりよい思い出になるようにするには、やはり劇も良いものにしなければなりません。今回の講演は、来年に向けての本当に良い勉強になったと思います。来年の文化祭は今回観たものを生かして頑張りたいです。

豊北高等学校 2年 岡村 美玲

今回の演劇鑑賞では、感動したと同時に、多くのことを学びました。

前半は、物語と詩の朗読でした。聞いていて、読み手さんの感情の込め方や滑舌の良さにびっくりしました。とても聞きとりやすい上、うまい音響技術もあり、物語の中へひきこまれるようでした。

次に聞いた詩は、最初の物語とはうって変わって、聞き手に語りかけるような感じでした。その詩に込められた深い意味などが伝わってくるようで、とても暖かい気持ちになりました。

後半は、ヘレン・ケラーについての演劇でした。私は、ヘレン・ケラーについて全く知らなかったもので、どんな話なんだろう、と思っていました。一つ一つの動作や表情まで、とてもこだわっていて、すごかったです。来年度の文化祭の演劇に生かそうと思います。とても感動でき、直に見ることができてよかったと思いました。

《自主事業》 【ヴァイオリンとチェロの演奏会】



青嶺高等学校 1年

とてもきれいな音色に聴きほれました。よくあんな小さな楽器から、あんなにきれいで、大きな音が出るなと思いました。ヴァイオリンとチェロなど、生で聴く機会などそうそうないと思うので、とても良い経験になったと思います。

響きからして優雅な感じがするし、実際にとても優雅だと思います。聴いていて心が落ち着くし、安らかな気分になってきます。家でも、たまに聴くことがありますが、やはり生とでは全然違いました。

音楽の鑑賞会を学校でするのは、今日の演奏を通して間違っているなと思いました。なぜなら、演奏と演奏の間もだけど、演奏中に喋っている人がいたからです。主旨が珍しいものに触れるということならいいかもしれませんが、本気で聴きたい人にはちょっと不向きだなと思いました。

青嶺高等学校 2年

たくさんの曲の中でTVとかで聞いたことがある曲もあったけど、ナマ演奏はすごく耳に響いてとても心地良く聞けた。2人の息がぴったり合っていて、私達吹奏楽部はメトロノームや手拍子がないと合わないのですごく感動した。

あと、チェロの音は低い音はすごくずっしりして響いて迫力があったけど、中音はすごく優しい音できれいだった。ヴァイオリンはすごく速いところは緊迫していたけど、長く伸びる音はきれいに響いていた。2人のかけ合いやソロ、沈黙でさえもひきつけられ、時間があつという間に過ぎていった。

TVとかでよく聞くし、私も好きなのである



程度の曲は知っているけど、どの曲も大好きで音楽の歴史を感じる。生きた時代は違うけど、聞いていて深く感動出来るからクラシック音楽の鑑賞は好きです。

日ごろ見ることや聞くことの少なく、しかもナマで見ることがほとんどないので、このような行事から芸術に触れることが出来てとても嬉しい。

青嶺高等学校 3年

旋律が美しかった。2人の息があっていて、弦楽器を演奏するのに、管楽器を吹くかのように、しっかりと息を吸っているのが印象的だった。

音楽をととても楽しんでいる気がした。

弦楽の音の美しさや緊張感がとても心地よかった。

自分は、クラシックが好きでよく聴いているので、演奏する人や場所が変わるとこの曲はこんなにも変わるんだ。ということが分かったり、その曲の新しい面での魅力を知ることができるので、今日の演奏を聴くのもとても楽しかった。そういうこともあり、クラシック音楽の鑑賞をこれからも、もっとしたいと思う。

あまり、このように音楽を聴く機会をつくることはないので、こうして学校の行事として音楽鑑賞できるのはとても嬉しいです。

《自主事業》 【山口県交響楽団演奏会】

山口県交響楽団演奏会を聴いて 中村女子高等学校

今回、本当に素晴らしい演奏を聴かせていただきました。どの曲もすごく心に響く良い音色でした。演奏していただいた曲は、ほとんどが皆知っている曲で親しみを持って聴き入ることができ、また、演奏と演奏の間で交響楽団の司会の方がそれぞれの曲についての時代背景など



いろいろな事を話され、それについて私は関心を持ちました。たくさんの作曲家がひとりひとり、いろんな思いがあって、そして、いろんな苦難を乗り越えて作曲していったということがよく分かりました。

私たちの生活を豊かにするのにも人の心を豊かにするのにも音楽は必要なものだと思いました。これからも、生活の中で音楽を大切にしていきたいです。



《補助事業》 【カナデonブラス金管五重奏演奏会】



山口県立日置農業高等学校

私たち高校生のことを考えて選曲されていたのでとても楽しく聴くことができました。司会をされたチューバの方も楽器の説明まで丁寧にしてくださり、とてもよく分かりました。ホルンの奏でる独特の音、トロンボーン技術、チューバの奥行きのある音、トランペットの高音と、めりはりのある吹き方等、感動的でした。ルパンとエヴァの「残酷な天使のテーゼ」ととても素敵でした。あと、司会をつとめた人の関西弁が新鮮で良かったです。

とても楽しく、あっという間に終わった気がしましたが、感動的でした。まず、指揮者らしき人がいないのに五人の音がぴったり合っていたのが驚きでした。曲目はなじみのあるものばかりでとても楽しく聴くことができました。私

は音楽が大好きなので、生演奏が聴けたのは幸運でした。となりで聴いていた吹奏楽部の友達も演奏を聴いていて「すごい。」と体を震わせてつぶやいたのですから、本当にすごいのだろ

下関工業高等学校 3年 西山 慶一

私は、今日のコンサートで大切なことを掴んだ気がします。それは、一瞬でも集中して物事に向き合っていると、想像もしていなかった結果や成果が生まれるということです。

また、本日の鑑賞を通して、今後待ち受けている就職試験に向けて、頑張ろうという思いが強くなりました。

カナデonブラスの皆さん、これからも多くの人を感動させる演奏を続けていってください。



平成22年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事 業	会 場
4	14	会計監査 平成21年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	20	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	7	高文連評議員会 平成21年度集録「高文連」発行	山口市
	14	巡回演劇「劇団のんた」	西市高校
	22～23	県高校総合文化祭(将棋部門)	防府市文化福祉会館
	25	山口県青少年劇場「ヴァイオリンとチェロのコンサート」	午前:下関南高校 午後:青嶺高校
	25	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会(地区代表者会議)	東京:ホテルフロラシオン青山
6	8～11	補助事業「カナデ on プラス 金管5重奏コンサート」	田布施農工、下関工、日置農、山口中央
	17	県高校総合文化祭総会開会式	シンフォニア岩国
	18～19	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	シンフォニア岩国
	19	県高校総合文化祭(日本音楽・吟詠剣詩舞部門)	ラポールゆや
7	2	第21回中国地区高文連関係者合同会議	下関市:海峡メッセ下関
	31～5	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	宮崎県
8	1～5	第33回全国高等学校総合文化祭	宮崎県
	2	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	宮崎県:宮崎市
	28～29	第21回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京:国立劇場大劇場
9			
10	23	県高校総合文化祭(文芸部門)	徳山商工高校
	24	県高校総合文化祭(囲碁部門)	下関西高校
	27	山口県交響楽団演奏会	新南陽高校
	28	巡回演劇「宇部芸術座」	小野田高校
	29	巡回演劇「下関海峡座」	豊北高校
11	6～7	山口県中学校文化連盟総会開会式	萩市民館
	6	県高校総合文化祭(放送部門)	ニューメディアプラザ山口
	12	第12回高校生文芸道場中国ブロック大会	島根県民会館
	12～14	県高校総合文化祭展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	周南市美術館
	13～14	県高等学校総合文化祭(演劇部門)	防府市公会堂
	17	山口県交響楽団演奏会	中村女子高校
	18	第1回高文連理事長会	山口中央高校
12	9	第22回全国高文連研究大会	さいたま市
	10	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	さいたま市
	18	第12回高校生文芸道場総会大会	国立オリンピック記念青少年総合センター
	18～19	第48回中国地区高等学校演劇発表会	島根県松江市:島根県民会館中ホール
	18～19	第9回中国地区高等学校将棋選手権大会	山口市:ホテルかめ福
1			
2	4	第2回高文連理事長会	山口中央高校
	23	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	18	平成22年度中国地区高文連実務担当者会議	山口中央高校
	25	第30回器楽・管弦楽スプリングコンサート	シンフォニア岩国

平成22年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

{収入の部}

(単位; 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増減 (減△)	摘 要
繰 越 金	2,642,612	2,642,612	0	
加 盟 費	12,692,000	12,663,550	△ 28,450	
(内訳)	12,523,000 64,000 105,000	12,491,150 67,100 105,300	△ 31,850 3,100 300	全日制350円×35,689人 定時制・総合支援学校 50円×1,342人 学校負担金 100円×1053学級
補 助 金	12,406,000	12,268,465	△ 137,535	
(内訳)	811,000 2,000,000 9,595,000	811,000 2,000,000 9,457,465	0 0 △ 137,535	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金 子どもたちの地域参加のための演奏活動普及事業費
調整基金から繰入	1,900,000	1,900,000	0	
雑 収 入	25,023	7,875	△ 17,148	定期利息
合 計	29,665,635	29,482,502	△ 183,133	

{支出の部}

区 分	予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運 営 費	1,105,400	1,062,182	43,218	
(内訳)				
事務用品費	250,000	251,979	△ 1,979	事務用品 事務機器維持費
通 信 費	330,000	284,803	45,197	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分 担 金	525,400	525,400	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 山口県文連会費
会 議 費	1,500,000	1,136,602	363,398	全国会議 研究大会 研究大会参加費 県内会議 会議用お茶
事 業 費	26,164,340	23,132,776	3,031,564	
(内訳)				
県総文祭	7,372,840	5,978,643	1,394,197	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	4,740,000	3,487,898	1,252,102	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費
自主事業	1,860,000	1,862,000	△ 2,000	7公演 補助事業4公演
大会補助金	150,000	150,000	0	特別支援学校文化祭 中国地区将棋選手権大会
専門部会費	2,036,500	1,853,248	183,252	研修費 通信費 全国分担金 役員旅費保険
印刷費	380,000	334,992	45,008	集録 会報 県総文ボスター 賞状
中高連携費	30,000	8,530	21,470	中高文連交流事業
楽器等購入費	9,595,000	9,457,465	137,535	子どもたちの地域参加のための演奏活動普及事業費
調 整 基 金	0	0	0	
研究大会積立金	0	1,000,000	△ 1,000,000	平成24年度全国高等学校文化連盟研究大会積立金
予 備 費	895,895	89,550	806,345	書道専門部額
合 計	29,665,635	26,421,110	3,244,525	

(収入) 29,482,502円 - (支出) 26,421,110円 = (繰越) 3,061,392円

平成22年度 調整基金会計決算見込書

前年度末残高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
9,800,000	1,900,000	7,900,000

平成24年度 全国高等学校文化連盟研究大会(山口大会)積立金

積立額	今年度積立額	今年度末残高
0	1,000,000	1,000,000

上記の通り相違ありません

平成 23 年 4 月 13 日

監事

監事

中村 龍夫
三 吉 英 九

平成23年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事業	会場
4	13	会計監査 平成22年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	19	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	6	高文連評議員会 平成22年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	24	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会	東京：ホテルフロラシオン青山
	28～29	県高校総合文化祭(将棋部門)	防府市文化福祉会館
6	9	自主事業 青少年劇場小公演「ヴァイオリンとチェロのコンサート」	豊浦総合支援学校
	16	県高校総合文化祭総合開会式	光市民ホール
	17～18	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	光市民ホール
	18	県高校総合文化祭(日本音楽・吟詠剣詩舞部門)	アクティブやない
7	1	第22回中国地区高文連関係者合同会議	島根県
	7	自主事業 巡回音楽教室「山口県交響楽団演奏会」	光高校
	15	自主事業 巡回演劇(劇団下関海峡座)	日置農業高校
8	2～7	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	福島県
	3～7	第35回全国高等学校総合文化祭	福島県
	4	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	福島県郡山市
	27～28	第22回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	7	自主事業 巡回演劇(宇部芸術座)	宇部西高校
10	6	自主事業 青少年劇場小公演「マリンバコンサート」	周南総合支援学校
	22	県高校総合文化祭(文芸部門)	徳山商工高校
	23	県高校総合文化祭(囲碁部門)	下関西高校
	24	自主事業 巡回音楽教室「山口県交響楽団演奏会」	慶進高校
	26～28	補助事業「カルテット(ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、ピアノ)コンサート」	宇部中央高校、西市高校、防府高校
	28～30	県高等学校総合文化祭(演劇部門)	周南市文化会館
11	11	自主事業 巡回演劇(劇団のんた)	萩商工高校
	12	県高校総合文化祭(放送部門)	ニューメディアプラザ山口
	10～13	県高校総合文化祭展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	山口市民会館
	12～13	山口県中学校文化連盟総合開会式	周南市文化会館・周南市美術博物館
		第13回高校生文芸道場中国大会	岡山県
		第1回高文連理事長会	山口中央高校
	25～27	第49回中国地区高等学校演劇発表会	広島県尾道市：テアトロシエルネ(しまなみ交流館)
12	8	第23回全国高文連研究大会	長野県軽井沢町
	9	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	長野県軽井沢町
1		山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会	山口中央高校
2		第2回高文連理事長会	山口中央高校
		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3		平成23年度中国地区高文連実務担当者会議	島根県
	25	第31回器楽・管弦楽スプリングコンサート	下関市生涯学習プラザ(主管：下関南高校)
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会……県下各地において開催予定 ※全国高等学校文化連盟研究大会(山口大会)実行委員会			

平成23年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

{収入の部}

(単位:円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減 (減△)	摘 要
繰 越 金	3,061,392	2,642,612	418,780	
加 盟 費	12,490,000	12,692,000	△ 202,000	
(内訳)	12,320,000 65,000 105,000	12,523,000 64,000 105,000	△ 203,000 1,000 0	全日制350円×35,200人 定時制・総合支援学校 50円×1,300人 学校負担金 100円×1050学級
補 助 金	4,949,000	12,406,000	△ 7,457,000	
(内訳)	649,000 4,300,000	811,000 2,000,000 9,595,000	△ 162,000 2,300,000 △ 9,595,000	県総文祭補助金 全総文祭補助金 子どもたちの地域参加のための演奏活動普及事業
調整基金から繰入	0	1,900,000	△ 1,900,000	
雑 収 入	9,608	25,023	△ 15,415	定期利息
合 計	20,510,000	29,665,635	△ 9,155,635	

{支出の部}

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減(減△)	摘 要
運 営 費	975,400	1,105,400	△ 130,000	
(内訳)				
事務用品費	200,000	250,000	△ 50,000	事務機器維持費 事務用品等
通 信 費	250,000	330,000	△ 80,000	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分 担 金	525,400	525,400	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 山口県文連会費
会 議 費	1,900,000	1,500,000	400,000	全国(県外)会議 県内会議 研究大会 研究大会参加費 会議用お茶 中国地区会議
事 業 費	17,129,610	26,164,340	△ 9,034,730	
(内訳)				
県総文祭	6,574,610	7,372,840	△ 798,230	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	6,100,000	4,740,000	1,360,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費
自主事業	1,862,000	1,860,000	2,000	自主事業7公演 補助事業4公演
大会補助金	50,000	150,000	△ 100,000	特別支援学校文化祭
専門部会費	2,213,000	2,036,500	176,500	通信費 全国分担金 研修費 役員旅費保険
印刷費	320,000	380,000	△ 60,000	集録 会報 県総文ボスター 封筒
中高連携費	10,000	30,000	△ 20,000	中高文連交流事業
楽器等購入費		9,595,000	△ 9,595,000	子どもたちの地域参加のための演奏活動普及事業
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	504,990	895,895	△ 390,905	
合 計	20,510,000	29,665,635	△ 9,155,635	

平成23年度 調整基金会計予算書

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
7,900,000	0	7,900,000

平成24年度 全国高等学校文化連盟研究大会(山口大会)積立金

前年度末積立額	今年度積立額	今年度末積立額
1,000,000	0	1,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年4月1日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

- 2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。
この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

- 2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学の各部門とする。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副会長 若干人
- (3) 評議員 各加盟校ごとに1人

- (4) 支部長 7人
- (5) 専門部会長 15人
- (6) 専門部理事長 15人
- (7) 監 事 2人
- (8) 参 与 若干人

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
 - (2) 企画運営委員会
 - (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。

この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
- (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会 計 規 程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成22年4月1日改正

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。
- 第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。
- 加盟費内訳
- | | |
|-------------------------------------|------|
| ①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの | |
| (全日制生徒) | 350円 |
| (定時制、特別支援学校高等部生徒) | 50円 |
| ②各学校の学級数に100円を乗じたもの。(定時制、特別支援学校は除く) | |
- 第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事 務 局 規 程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成23年4月1日改正

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第2条 事務局に次の職員を置く。
- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。
(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日制定
平成元年4月1日制定
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

[調整基金細則規程]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の決議によりこれを処分することができる。

附 則

1 この規程は、昭和20年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成22年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	支 部・専 門 部	所 属 校
会 長	松 井 誠		山 口 中 央 高 校
副 会 長	中 村 芳 喜		岩 国 高 校
	木 村 峰 康		下 関 西 高 校
	伊 藤 清 之		下 関 短 期 大 学 付 属 高 校
参 与	川 野 あ き ら		山 口 高 校
支 部 長	中 村 芳 喜	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	藤 澤 正 信	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	竹 本 芳 朗	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	長 谷 川 信 明	防 部 支 部	防 部 高 校
	時 光 善 朗	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	木 村 峰 高	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	吉 村 高 男	萩 北 支 部	萩 高 校
専 門 部 会 長	木 村 静 男	演 劇 部	下 関 商 業 高 校
	中 嶋 幸 正	楽 器 部	下 関 南 高 校
	牛 見 光 善	合 唱 部	野 田 学 園 高 校
	時 佐 藤 知 紀	吹 奏 楽 部	宇 部 高 校
	中 嶋 幸 子	マーチングバンド・バトントワリング部	山 口 県 鴻 城 高 校
	(休 部)	日 本 音 楽 部	下 関 南 高 校
	(木 村 静 浩)	吟 詠 剣 詩 舞 部	(休 部)
	木 鞠 福 永 村 川 永 村 村 川 中	美 術 ・ 工 芸 部	下 関 商 業 高 校
	長 谷 川 信 一	書 道 部	長 府 高 校
		写 真 部	新 南 陽 高 校
		囲 碁 部	下 関 西 高 校
		放 送 棋 部	岩 国 高 校
		将 棋 部	防 府 高 校
		文 芸 部	徳 山 商 工 高 校
専 門 部 理 事 長	金 森 健 一	演 劇 部	下 関 商 業 高 校
	飯 田 中 道 博	楽 器 部	下 関 南 高 校
	田 中 道 博	合 唱 部	野 田 学 園 高 校
	志 道 真 知	吹 奏 楽 部	宇 部 高 校
	縄 好 (休 部)	マーチングバンド・バトントワリング部	山 口 県 鴻 城 高 校
	(宮 嶋 龍 美 智)	日 本 音 楽 部	下 関 南 高 校
	尾 崎 山 崎 野 倉 嶋	吟 詠 剣 詩 舞 部	(休 部)
	高 小 岡 國	美 術 ・ 工 芸 部	下 関 商 業 高 校
		書 道 部	長 府 高 校
		写 真 部	新 南 陽 高 校
		囲 碁 部	下 関 西 高 校
		放 送 棋 部	岩 国 高 校
		将 棋 部	防 府 高 校
		文 芸 部	徳 山 商 工 高 校
監 事	三 吉 英 太		防 府 商 業 高 校
	豊 岡 芳 和		西 京 高 校
事 務 局 長 務	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
総 務 計	大 田 川 竹 公		山 口 中 央 高 校
	細 新 境		山 口 中 央 高 校
			山 口 中 央 高 校

平成23年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	支 部・専 門 部	所 属 校
会 長 副 会 長	松 井 誠 松 根 健 中 村 芳 伊 藤 清 之 喜 之 之		山 口 中 央 高 校 岩 国 高 校 下 関 西 高 校 下 関 短 期 大 学 付 属 高 校
参 与 支 部 長	川 野 あ き ら 松 根 健 藤 澤 正 竹 本 芳 長 谷 川 信 時 光 善 中 村 芳 中 垣 謙 司	岩 国 支 部 柳 井 支 部 德 山 支 部 防 部 支 部 宇 下 支 部 関 北 支 部	山 口 高 校 岩 国 高 校 柳 井 高 校 德 山 高 校 防 府 高 校 宇 部 高 校 下 関 西 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長	中 村 芳 喜 松 井 良 治 牛 見 正 彦 時 光 善 朗 佐 藤 知 紀 松 根 健 治 (休 部) 藤 澤 川 正 浩 福 永 村 芳 中 谷 川 信 長 根 健 一 松 井 誠	演 劇 部 門 器 楽 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・バトントワリング部 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 将 棋 部 門 放 送 芸 部 門 自 然 科 学 部 門	下 関 西 南 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 宇 部 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 岩 国 高 校 (休 部) 柳 井 高 校 長 府 高 校 新 南 陽 高 校 下 関 西 高 校 防 府 高 校 岩 国 高 校 德 山 商 工 高 校 山 口 中 央 高 校
専 門 部 理 事 長	金 飯 健 一 田 森 幸 一 志 中 道 博 内 田 良 資 木 坂 佳 津 江 (休 部) 濱 相 崎 山 子 尾 崎 美 智 利 高 野 勝 朝 男 岡 倉 誠 樹 小 嶋 洋 司 國 田 和 治 大 田 子	演 劇 部 門 器 楽 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・バトントワリング部 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 将 棋 部 門 放 送 芸 部 門 自 然 科 学 部 門	下 関 西 南 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 宇 部 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 岩 国 高 校 (休 部) 柳 井 高 校 長 府 高 校 新 南 陽 高 校 下 関 西 高 校 防 府 高 校 岩 国 高 校 德 山 商 工 高 校 山 口 中 央 高 校
監 事	三 吉 英 太 中 村 龍 夫		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長 事 務 局 次 長 総 務 会 計	西 村 正 浩 細 川 隆 大 田 子 境 谷 公 美		山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作 詞

乗 松 美 紀 作 曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ ー ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひら け ば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ほくらのぶんか を つく る ため ー に
ほくらのぶんか を きず く ため ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔こう

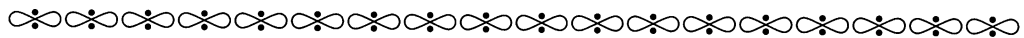
僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

合 唱	田 中 睦	(野 田 学 園 高 等 学 校)
マーチングバンド	内 田 良 一	(山 口 県 鴻 城 高 等 学 校)
バトントワリング	飯 田 幸 生	(県 立 下 関 南 高 等 学 校)
器 楽 ・ 管 弦 楽	志 道 博 資	(県 立 宇 部 高 等 学 校)
吹 奏 楽	金 森 健 一	(下 関 商 業 高 等 学 校)
演 劇	好 川 眞 知 子	(県 立 下 関 南 高 等 学 校)
日 本 音 楽	宮 崎 龍 次	(下 関 商 業 高 等 学 校)
美 術 ・ 工 芸	梶 山 美 智 子	(県 立 長 府 高 等 学 校)
書 道	尾 崎 勝 利	(県 立 新 南 陽 高 等 学 校)
写 真	高 野 朝 男	(県 立 下 関 西 高 等 学 校)
囲 碁	岡 茂 樹	(県 立 防 府 高 等 学 校)
将 棋	小 倉 誠 司	(県 立 岩 国 高 等 学 校)
放 送	國 嶋 洋 治	(県 立 徳 山 商 業 高 等 学 校)
文 芸		

事 務 局 長	西 村 正 浩	(山 口 県 立 山 口 中 央 高 等 学 校)
総 務	大 田 和 子	(”)
〃	細 川 邦 隆	(”)
庶 務	新 竹 伸 芳	(”)
会 計	境 谷 公 美	(”)



平成22年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編 集 ・ 発 行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電 話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／ 福 浪 明日香
(山口中央高校3年)

